

**平成27年度**

# **保健活動のまとめ**

**大口町保健センター**

## 大口町健康の町宣言

健康は、まちの財産であり、しあわせの源であります。

心身ともに健康であることは、町民すべての願いであり、活力あるまちづくりのうえで、最も大切なことでもあります。

私たち大口町民は、一人ひとりが健康でしあわせな、明るい活力ある大口町を築くため、ここに「健康の町」を宣言します。

- 1 スポーツやレクリエーションをとおして、健康なところとからだをつくります。
- 2 町民一人ひとりが調和のある、健康で豊かな家庭をつくります。
- 3 健康づくりを地域にひろめ、健康で豊かなまちをつくります。

# 目 次

## 1 大口町の概要

1	町の位置及び紹介	1
2	大口町医療機関等分布図	2
3	人口	2
4	人口動態統計年次推移	5
5	選択死因別死亡数・(人口10万対)年次推移	5
6	大口町機構図	7
7	保健センターの概要	8
8	保健活動の変遷	10

## 2 母子保健活動

1	母子保健事業の取り組み・母子保健管理体系	15
2	一般不妊治療費助成事業	16
3	母子健康手帳の交付	16
4	妊産婦乳児健康診査	17
5	家庭訪問	17
6	フレッシュママの会	18
7	子育て相談室	18
8	乳幼児健康診査	19
9	たんぽぽ教室	21
10	離乳食教室	22
11	子育て支援・他機関との連携	23

## 3 成人保健活動

	成人保健管理体系	25
1	成人保健の取り組み	26
2	健康手帳の交付	26
3	特定健診・特定保健指導	27
4	各種がん検診	32
5	結核検診	36
6	わかば健康診査	37
7	肝炎ウイルス検診	38
8	ヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲン検査	39
9	骨密度測定	40
10	健康教育	41
11	健康相談	43
12	介護予防事業	44

## 4 歯科保健活動

1	歯科保健事業の取り組み・歯科保健管理体系……	45
2	幼児期歯科健康診査……	46
3	フッ化物洗口説明会……	47
4	歯の健康センター……	47
5	妊婦歯科健康診査……	48
6	歯周病予防健診……	49
7	8020・9018運動 歯の健康コンクール……	50
8	口腔機能向上事業……	51

## 5 健康推進事業

1	健康推進員活動……	52
2	健康おおぐち21計画推進……	57
3	国保・介護・健康・福祉の連携 ……	66

## 6 感染症予防事業

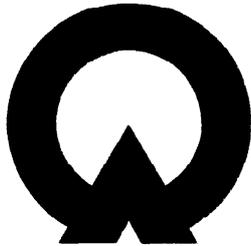
1	予防接種……	67
---	--------	----

## 7 その他

1	学生実習指導……	71
2	在宅医療介護連携……	72

# 1 大口町の概要

# 1 町の位置及び紹介



大口町は、愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置しています。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積13.61平方キロメートルです。北は扶桑町、北東は犬山市、北西から西は江南市、南から南東は小牧市に接しています。

名古屋市より直線距離にしてわずか18キロメートルの近郊地域に位置していますが、五条川をはじめとした恵まれた自然や田園地帯が広がることから、良好な環境を有する住宅地としての魅力が高まっています。

町中央部を国道41号線が南北に走るとともに、周辺には東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、名古屋都市高速道路がネットワークを形成しています。

## 2 大口町医療機関等分布図



## 3 人口

(1) 地区別世帯数 (単位: 世帯)

地区	区分	世帯
秋田		803
豊田		660
大屋敷		579
外坪		259
河北		585
余野		2,023
上小口		695
中小口		799
下小口		1,652
垣田		370
さつきヶ丘		331
合計		8,756

(2) 地区別人口 (単位: 人)

地区	区分	人口		
		男	女	総数
秋田		1,159	1,136	2,295
豊田		959	937	1,896
大屋敷		780	786	1,566
外坪		388	387	775
河北		864	906	1,770
余野		2,750	2,616	5,366
上小口		948	841	1,789
中小口		1,097	1,107	2,204
下小口		2,136	1,895	4,031
垣田		341	480	821
さつきヶ丘		414	421	835
合計		11,836	11,512	23,348

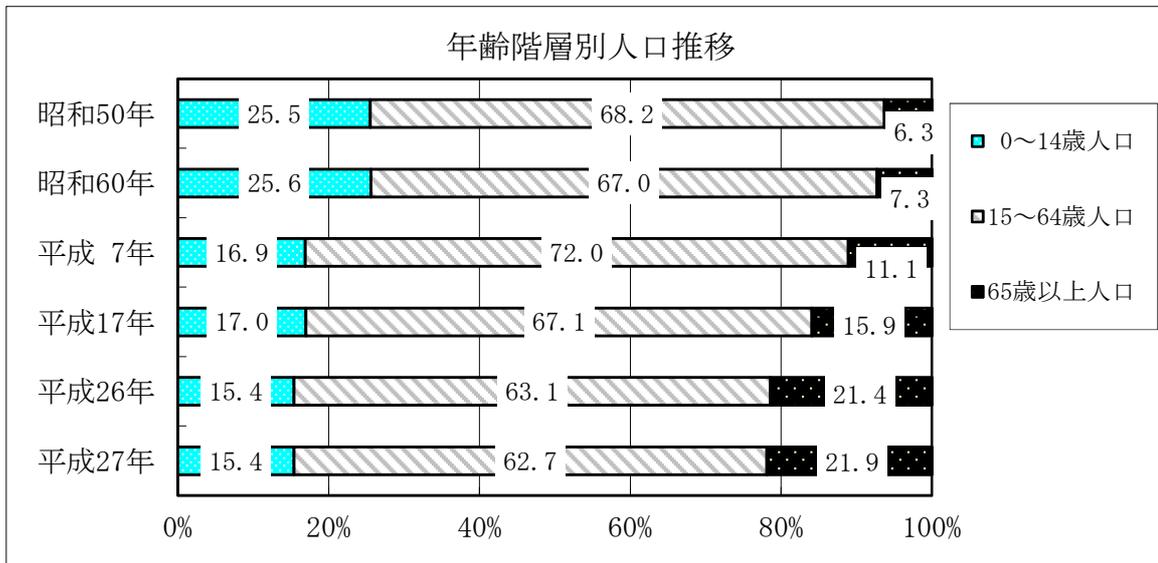
平成27年10月1日現在 住民基本台帳 (外国人を含む) による

(3) 年齢階層別人口の推移

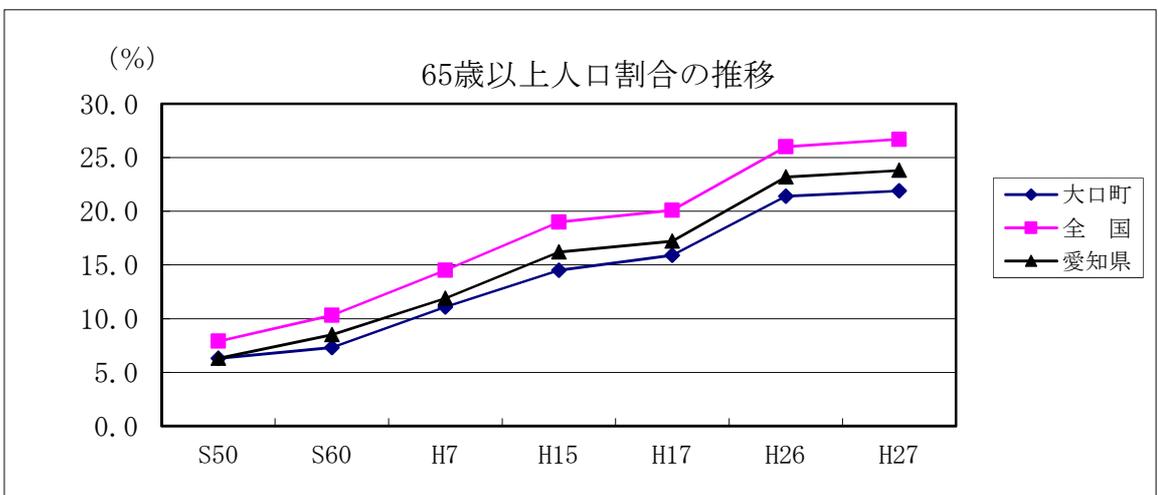
(単位 上段：人 下段：%)

		昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成26年	平成27年
総人口		15,894	16,195	19,031	21,261	23,102	23,348
年齢階層区分	0～14歳人口	4,052	4,153	3,223	3,616	3,565	3,594
	比率	25.5	25.6	16.9	17.0	15.4	15.4
	15～64歳人口	10,840	10,852	13,702	14,257	14,584	14,645
	比率	68.2	67.0	72.0	67.1	63.1	62.7
	65歳以上人口	1,002	1,190	2,106	3,388	4,953	5,109
	比率	6.3	7.3	11.1	15.9	21.4	21.9
	40歳以上人口	4,466	5,216	8,648	10,189	12,325	12,479
	比率	28.1	32.2	45.4	47.9	53.4	53.4
75歳以上	308	421	873	1,364	2,028	2,178	
比率	1.9	2.6	4.6	6.4	8.8	9.3	
全国	65歳以上人口比率	7.9	10.3	14.5	20.1	26.0	26.7
愛知県	65歳以上人口比率	6.3	8.5	11.9	17.2	23.2	23.8

資料：全国・愛知県は、総務省統計局発表のもの。各年、10月1日の人口に基づく。



※端数処理により100%にならない年があります。



(4) 地区別高齢化率

(単位：人)

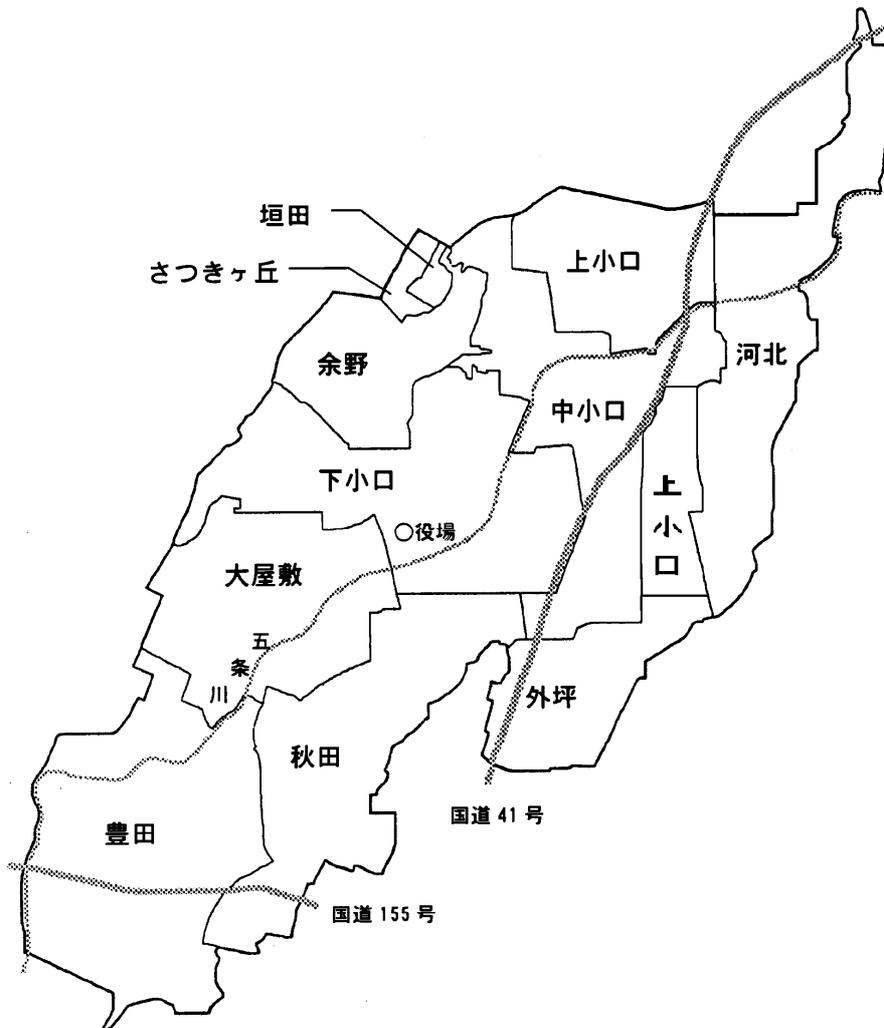
地 区	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野
人 口	2,295	1,896	1,566	775	1,770	5,366
65歳以上人口	529	501	444	245	368	757
比 率 (%)	23.1	26.4	28.4	31.6	20.8	14.1

地 区	上小口	中小口	下小口	垣田	さつきヶ丘	合計
人 口	1,789	2,204	4,031	821	835	23,348
65歳以上人口	422	471	867	222	283	5,109
比 率 (%)	23.6	21.4	21.5	27.0	33.9	21.9

(平成27年10月1日現在 住民基本台帳による)

〈行政区域図〉



#### 4 人口動態統計年次推移

(単位：人 率：1,000対)

年	種別	人口	出生				死亡				自然増加		乳児死亡(再掲)				新生児死亡		周産期死亡		死産		婚姻		離婚	
			総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	総数	男	女	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成	2	17,464	156	82	74	8.9	85	52	33	4.8	82	4.7	-	-	-	-	(データなし)		3	3.0	7	42.9	124	7.1	17	0.97
	7	19,027	213	106	107	11.2	119	70	49	6.3	94	4.9	1	1	-	4.7	(データなし)		2	9.4	5	22.9	132	6.9	33	1.73
	17	21,602	229	123	106	10.7	157	83	74	7.4	72	3.3	1	1		4.4	-	-	-	-	9	37.8	139	6.5	44	2.1
	22	22,199	234	123	111	10.5	170	99	71	7.7	73	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	4	17.1	125	5.6	41	1.8
	24	22,429	214	106	108	9.5	174	91	83	7.7	40	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13.8	126	5.6	24	1.06
	25	22,679	199	100	99	8.8	171	98	73	7.5	28	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	5	24.5	118	5.2	29	1.3
	26	22,922	241	128	113	10.5	174	95	79	7.6	67	2.9	2	1	1	8.3	-	-	2	8.2	5	20.3	119	5.2	33	1.4
愛知県	H26	7,298,000	65,218	33,649	31,569	8.9	62,426	33,441	28,985	8.6	2,792	0.4	137	75	62	2.1	60	0.9	231	3.5	1,358	20.4	41,410	5.7	12,780	1.75
全国	H25	125,704,000	1,029,800	527,651	502,149	8.2	1,268,432	658,679	609,753	10.1	-238,632	-1.9	2,185	1,193	992	2.1	1,026	1.0	3,863	3.7	24,093	22.9	660,594	5.3	231,384	1.84

※人口は、大口町が愛知県民生活部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計課推計の日本人人口で各年10月1日現在である。

※愛知県・全国：愛知県衛生年報および厚生労働省人口動態より。

<率算出式>

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡・新生児死亡}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数}}{\text{出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

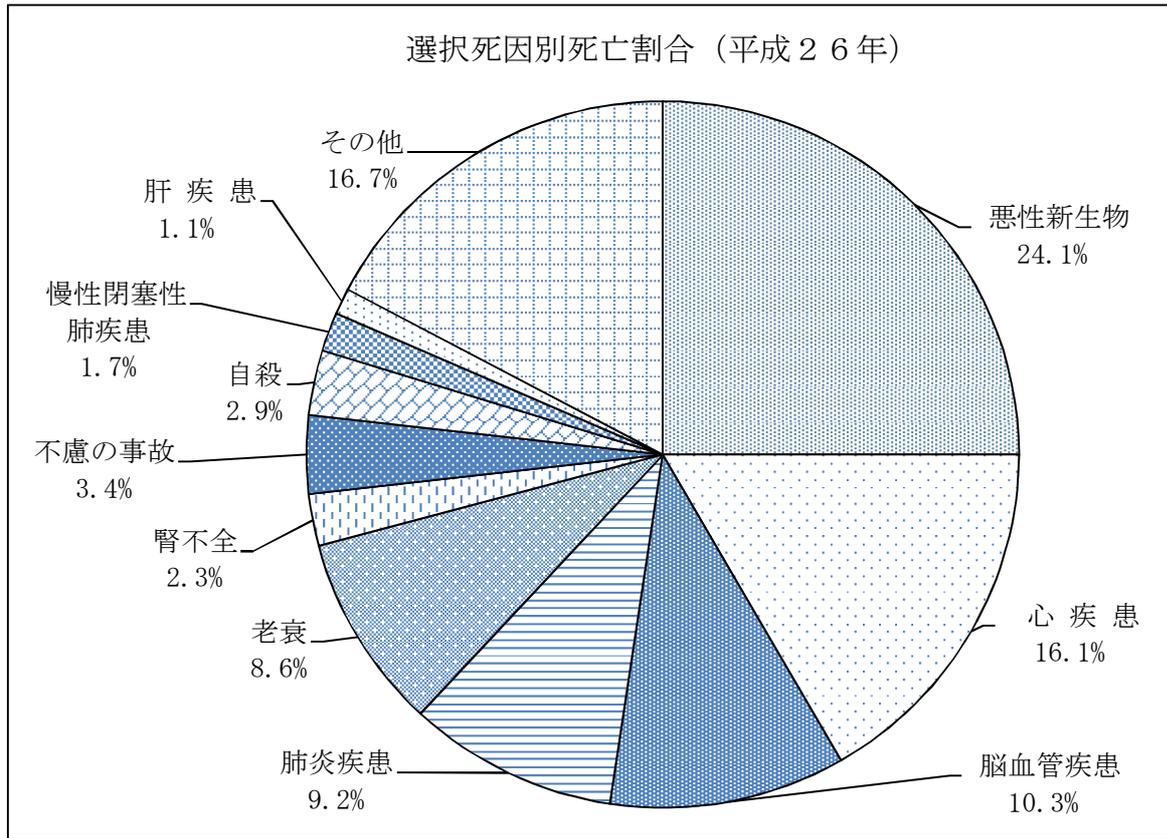
#### 5 選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移

(単位：人)

年	死因	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率				
平成	2	85	-	25	143.2	-	-	2	11.5	14	80.2	10	57.3	-	-	7	40.1	-	-	-	-	1	5.7	3	17.8	4	22.9	6	43.4	4	22.9	9	51.5		
	7	119	1	37	194.5	2	10.5	2	10.5	14	73.6	16	84.1	-	-	12	63.1	1	5.3	-	-	1	5.3	2	10.5	4	21.0	7	36.8	3	15.8	17	89.3		
	17	157	-	46	216.4	2	9.4	-	-	30	141.1	19	89.4	-	-	19	89.4	3	14.1	-	-	1	4.7	4	18.8	4	18.8	6	28.2	2	9.4	21	98.8		
	22	170	-	54	243.3	1	4.7	-	-	27	127.4	11	51.9	1	4.7	22	103.8	3	13.5	-	-	1	4.5	5	22.5	10	45.0	7	31.5	4	18	24	108.1		
	24	174	-	41	181.1	1	4.4	-	-	25	110.4	16	70.7	1	4.4	23	101.6	1	4.4	-	-	3	13.3	2	8.8	20	88.4	4	17.7	6	26.5	31	136.9		
	25	171	1	49	216.1	-	-	-	-	18	79.4	16	70.5	3	13.2	21	92.6	0	-	-	-	4	17.6	2	8.8	21	92.6	5	22.0	7	30.9	24	105.8		
	26	174	-	42	183.2	1	4.4	-	-	28	122.2	18	78.5	5	21.8	16	69.8	3	13	-	-	2	8.7	4	17.5	15	65.4	6	26.2	5	21.8	29	126.5		
愛知県	H25	62,393	134	18,453	253.6	601	8.2	260	3.6	8,368	114.8	5,336	73.2	867	11.9	5,447	74.7	682	0.9	53	0.7	763	10.5	1,197	16.4	3,610	49.5	1,960	26.9	1,388	19	13,244	181.7		
全国	H25	1,268,432	2,084	364,721	290.1	13,783	11.0	7,161	5.7	196,547	156.4	118,286	94.1	16,073	12.8	122,880	97.8	16,408	1.3	1,726	1.4	15,904	12.7	25,074	19.9	69,684	55.4	39,435	31.4	26,038	20.7	232,628	185.1		

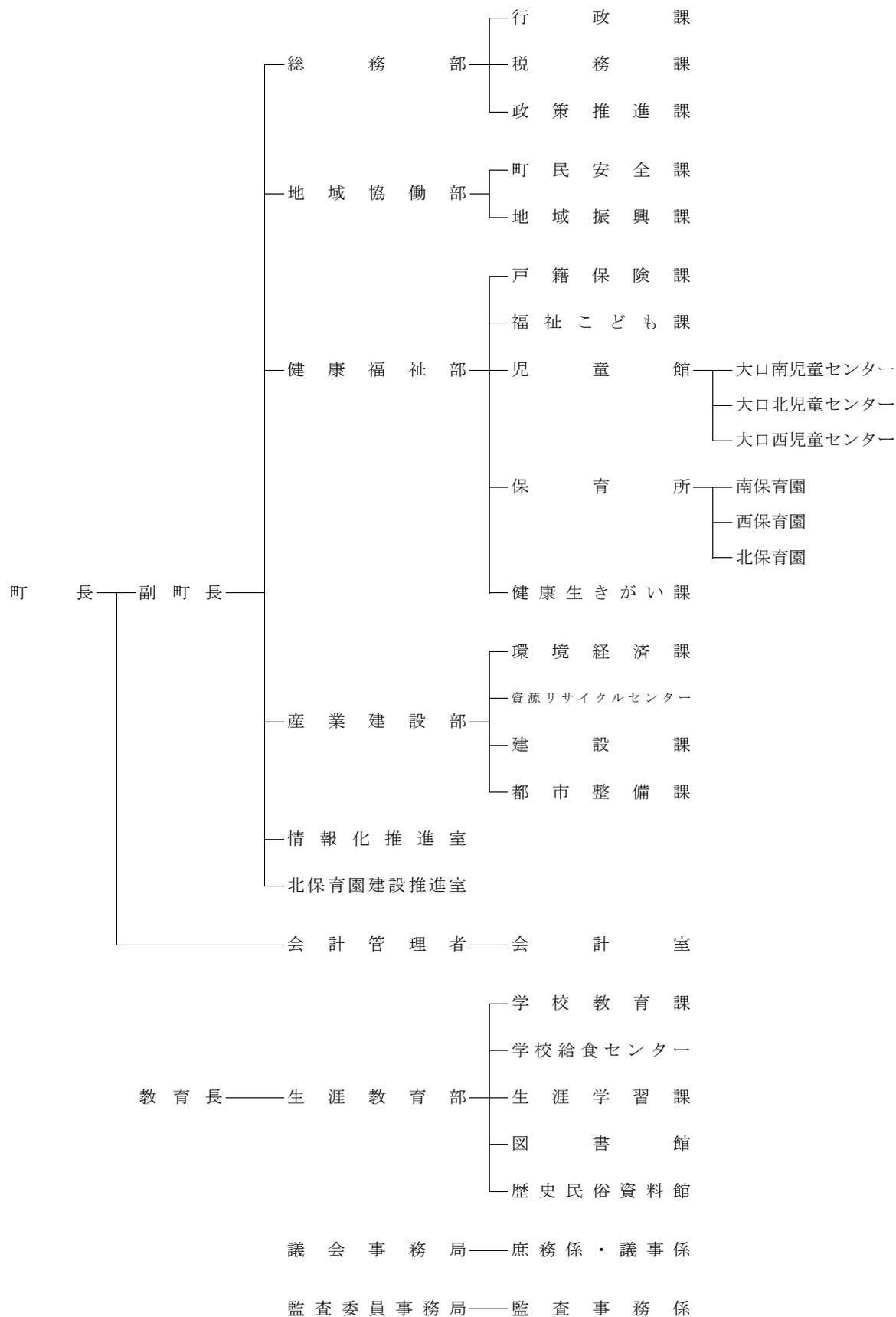
※大口町：平成26年愛知県衛生年報、愛知県及び全国：平成27年江南保健所事業概要より

選択死因別死亡割合



# 6 大口町機構図

平成27年4月1日現在



## 7 保健センター（健康文化センター）の概要

平成 10 年健康づくりの中核拠点、健康と福祉の交流拠点、歴史と文化のふれあい拠点として、健康文化センターが建設され、保健センターも健康文化センター内に移転した。

### (1) 施設の概要（健康文化センター含む）

- ・位置 丹羽郡大口町伝右一丁目 3 5 番地
- ・本館 構造 鉄筋コンクリート造 5 階建  
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
  - 1 階 1,847.40 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 974.78 m<sup>2</sup>）
  - 2 階 1,639.98 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 611.92 m<sup>2</sup>）  
社会福祉協議会
  - 3 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 歴史民俗資料館
  - 4 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 研修センター
  - 5 階 1,106.63 m<sup>2</sup> トレーニングセンター
  - PH 階（機械室） 167.04 m<sup>2</sup>
- ・機械棟 構造 鉄筋コンクリート造  
床面積 168.00 m<sup>2</sup>
- ・駐輪場 構造 鉄骨造  
床面積 40.00 m<sup>2</sup>  
(延床面積 7,182.31 m<sup>2</sup>)
- ・敷地面積 10,413.95 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本 体 施 設 5,069.95 m<sup>2</sup>  
ふれあい広場、駐車場 5,344.00 m<sup>2</sup>
  
- ・本体施設の工期
  - 着工 平成 9 年 6 月 24 日
  - 竣工 平成 10 年 9 月 24 日
- ・使用開始年月日  
平成 10 年 11 月 9 日

### (2) 保健センターの主要施設

- 1 階 事務室・応接室・栄養実習室・栄養指導室・会議室・相談室・機能回復  
訓練室・作業室・多目的室・検査室・授乳室
- 2 階 待合室・予診室・計測室・診察室・歯科室・保健指導室・聴力室・カルテ  
庫・消毒室・検査室・プレイルーム・授乳室

### (3) 事務分掌

- ア 健康づくり推進事業
- イ 地域保健（医療）対策事業
- ウ 予防事業
- エ 成人保健事業
- オ 母子保健事業
- カ 健康文化センター管理事業

### (4) 主な事業内容

母子保健…母子健康手帳交付説明会、妊婦相談、妊婦・乳児健康診査、妊婦歯科健診、フレッシュママの会、乳幼児健康診査（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）、離乳食教室、子育て相談室、たんぼぼ教室、2歳3か月児歯科健診、一般不妊治療費助成事業、子育てサークル等支援

成人保健…肺がん検診（結核検診を含む）、特定健康診査・特定保健指導、肝炎ウイルス検診、がん検診（胃・子宮・肺・乳・大腸・前立腺）、ピロリ抗体及びペプシノゲン検査、一般健康診査、わかば健康診査、歯周病予防健診、骨密度測定、健康手帳交付、健康相談、栄養相談、口腔相談、健康教育、わかば健診事後指導、歩く健康の集い、健康づくり自主グループ支援

予防接種…集団接種：BCG

個別接種：【乳幼児・学童】

四種混合、急性灰白髄炎（不活化ポリオ）、三種混合、二種混合、小児肺炎球菌（13価）、麻疹・風疹混合（MR）、麻疹、風疹、ヒブ、水痘、日本脳炎、子宮頸がん（2価・4価）

【高齢者】

季節性インフルエンザ、肺炎球菌（23価）

任意接種：風しん抗体検査・風しんワクチン接種費用助成事業

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

家庭訪問…出生児（原則）全員、低出生体重児及び里帰り等の希望者、乳幼児健診事後フォロー、虐待予防、生活習慣病重症化予防等

健康推進事業…健康おおぐち21第二次計画の推進事業、健康推進員活動、健康まつり等

その他…健康文化センター維持管理

## 8 保健活動の変遷

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査に対する補助金一般財源化される(4月)</li> <li>・愛知県特定不妊治療費助成事業開始(7月1日)</li> <li>・赤ちゃん訪問を、第1子全員と第2子以降の希望者に実施(11月～)</li> <li>・母子保健システム、予防接種電算化推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団がん検診に、前立腺がん・乳がん(MMGを導入)を実施し、自己負担金を徴収する</li> <li>・住民検診時・わかば健診時に簡易体力測定を実施。まとめを愛知県公衆衛生研究会で発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅当番医制運営補助金一般財源化(4月)</li> <li>・保健師2名・看護師1名採用(4月)</li> <li>・保健師1名嘱託採用(4～3月)(訪問看護ステーション)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月) <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士1名育休(4月～3月)</li> </ul> </li> <li>・愛知県広域災害救急医療情報システムの設置及び運営に関する協定書変更(6月)</li> <li>・児童虐待の防止等に関する法律の一部を改正する法律の施行(10月)</li> <li>・健康おおぐち21「元気体操」作成(2月)</li> <li>・「健康おおぐち21」推進イベント「春だ!笑顔だ!元気まつり」を大口町元気な町づくり事業(協働事業)で実施(3月5日)</li> <li>・健康おおぐち21シンボルマーク公募し決定(3月)</li> <li>・大口町次世代育成支援行動計画を策定(3月)</li> <li>・大口町訪問看護ステーション廃止(3月)</li> <li>・虐待防止連絡会担当者会議開始(3月)</li> <li>・愛知万博「愛・地球博」開催(3月)「おおぐちデイ」(3月28日)</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康に関する連絡会開催(月1回)</li> <li>・BCG直接接種となる(4月)</li> <li>・日本脳炎予防接種の積極的接種勧奨を見合わせる(5月)</li> <li>・日本脳炎予防接種第3期接種を廃止(7月)</li> <li>・二種混合予防接種第1期接種を廃止(7月)</li> <li>・ちゅーりっぷの会中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本健康診査を除く各種検診を有料とする</li> <li>・歯周病予防健診(節目年齢)を医療機関委託で実施(8月～10月)</li> <li>・わかば健診時歯科健診実施</li> <li>・8020運動表彰を「健康ウォーク&amp;元気まつり」時に実施</li> <li>・介護予防教室(しなやかお達者教室)をあいち健康プラザとタイアップで実施</li> <li>・大屋敷ひだまりの会休止(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法施行(4月)</li> <li>・発達障害支援法施行(4月)</li> <li>・医療観察法施行(7月)</li> <li>・健康おおぐち21推進イベントとウォーキング大会を1本化し協働事業で実施</li> <li>・健康おおぐち21シンボルマーク愛称公募し決定(11月)</li> <li>・第6次大口町総合計画策定(3月)</li> <li>・保健師1名退職(3月)</li> <li>・大口町母子通園事業試行(4月～3月)</li> <li>・在宅介護支援センター廃止(3月)</li> <li>・看護師1名育休(1月～3月)</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政	法・その他	
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻疹風疹混合ワクチン接種施行（4月）</li> <li>・個別予防接種が二市二町共通要領にて実施となる（4月）</li> <li>・麻疹及び風疹の単抗原ワクチンも法定内接種となる（6月）</li> <li>・母親教室の名称を変更し、内容を改編し、パパママ教室を育児編・栄養編として実施（各年6回）</li> <li>・たんぽぽ教室を月2回実施</li> <li>・9か月児健診を10か月児健診とする</li> <li>・マタニティーホルダーを希望者に配布開始（1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室（しなやかお達者教室）を豊田地区で実施</li> <li>・男性のための健康づくり教室元気UPヘルシーライフ教室実施</li> <li>・住民結核検診の対象が40歳以上となる</li> <li>・ひだまりの会（中小口）の健康チェックをハートフルへ委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを町直営で開始（保健師1名福祉課へ異動）</li> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・管理栄養士1名産育休（9月～3月）</li> <li>・改正介護保険法の施行</li> <li>・がん対策基本法の制定（6月） （施行は19年4月）</li> <li>・障害者自立支援法の施行（4月）</li> <li>・高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律（新バリアフリー法）の制定（6月）</li> <li>・健康保険法等の一部改正法（医療制度改革関連法）制定・公布（7月）</li> <li>・歯科衛生士（臨時）1名常勤採用（4月）</li> <li>・母子通園事業本格実施</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健康診査を医療機関に委託で実施</li> <li>・プレママ交流会（栄養編・育児編）の実施</li> <li>・歯科健診の対象者を2歳3か月児とする</li> <li>・1歳6か月児健診時の歯科染めだしを廃止</li> <li>・子育て相談室に心理相談員を組み入れる</li> <li>・西小学校区連絡会発足（健康部会に参加）</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担を4～9月までは4回、10月から7回で実施</li> <li>・一般不妊治療費の助成を実施（10月）</li> <li>・予防接種法施行規則の一部を改正する省令施行（12月）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令（20年1月）</li> <li>・麻疹に関する特定感染症予防指針（20年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん健診の医療機関での視触診のみを廃止、集団での超音波による健診を導入</li> <li>・国保連合会事業として「ヨーガ」教室を実施</li> <li>・介護予防事業のための人材育成（貯筋体操ひろめ隊）講座を実施</li> <li>・介護予防連絡会開始（地域包括支援センターより発信）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・管理栄養士1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師1名育休（9月～3月）</li> <li>・健康おおぐち21中間評価を実施</li> <li>・健康まつり運営事業を「健康クラブ笑顔21」と協働契約で委託実施</li> <li>・老人保健法の改正（20年3月）</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3期・4期麻疹風しん混合ワクチン接種施行(5月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国保連合会事業として生き生き教室実施</li> <li>特定健診、特定保健指導開始(4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(11月～3月)</li> <li>老人保健法の改正により、法律名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に変更され施行(4月)</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦健康診査の公費負担を14回で実施</li> <li>日本脳炎ワクチンに加え、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」を定期の予防接種に用いるワクチンとして追加する(6月)</li> <li>予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳がん・子宮がん検診実施医療機関を拡大</li> <li>女性特有のがん検診推進事業開始(9月)</li> </ul>	<p>機構改革により、健康課から健康生きがい課となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健師2名採用</li> <li>看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(5月～3月)</li> <li>保健師1名育休(3月～)</li> <li>アメリカで豚由来のインフルエンザウイルスの患者を確認と公表</li> <li>WHO「フェーズ6(流行)宣言」</li> <li>国「基本的対処方針」策定</li> <li>国「新型インフルエンザワクチン接種の基本方針」策定</li> </ul>
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>3歳に対する日本脳炎初回接種の積極的勧奨が再開(4月)</li> <li>日本脳炎ワクチンが使用不可となり、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」のみの使用</li> <li>第2期接種再開となる</li> <li>9歳以上13歳未満で第1期未接種者を接種対象とする特例が出る(8月)</li> <li>「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業」により、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成が開始(1月)</li> <li>妊婦健康診査の公費負担項目に子宮頸がん、GBSが追加。超音波検査の年齢条件がなくなり、検査は4回実施。乳児健康診査受診票が1回のみとなる</li> <li>パパママ教室、プレママ交流会の休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性特有のがん検診事業クーポン券5月に発送</li> <li>1月に未受診者に受診勧奨通知</li> <li>前立腺がん検診定員を拡大</li> <li>介護・保険・健康の連携した取り組みを開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師3名育休(4月～3月)</li> <li>管理栄養士1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名退職(12月)</li> <li>地域包括支援センターをハートフル大口へ委託(4月)</li> <li>新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種事業が終了(23年3月)</li> <li>国保・介護・健康の連携プロジェクト(PPKプロジェクト)の立ち上げ</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診8回目にHTLV-1とクラミジア抗体検査を追加</li> <li>・子育て相談室の第1週目を廃止(平成24年1月～)</li> <li>・4か月健診時 母乳相談を開始(平成24年1月～)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本脳炎の年齢枠が拡大(H7.6.1生まれ～H19.4.1生まれ 20歳未満の間接種可に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかば健診時に実施していた歯科健診を中止</li> <li>・大腸がん検診を各種集団がん検診時に申し込みできる体制にする。</li> <li>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業開始(6月～)</li> <li>・歯周病予防健診を年間通じて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師1名戸籍保険課へ異動</li> <li>・看護師1名産休育休(9月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名退職(3月)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科口腔保健の推進に関する法律(平成23年8月10日公布)</li> <li>・ドアノッキング事業開始(24年1月～)</li> <li>・愛知県の新型インフルエンザ対策行動計画の改定(平成24年2月)</li> </ul>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北児童センターにて出張子育て相談を実施(単年)</li> <li>・一般不妊治療費助成事業の助成内容の変更(対象となる治療内容と助成額)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月～尾張北部医療圏域内での広域予防接種の開始</li> <li>・9月～ポリオに係る使用ワクチンが“生ワクチン”から“不活化ワクチン”に変更</li> <li>・11月～ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ予防接種に使用するワクチンに「四種混合ワクチン」が追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のがん検診の同日開催の実施</li> <li>・国保連合会事業としてポールウォーキング教室(12回)の実施</li> <li>・ポールウォーキングの自主グループの立ち上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名産休育休(5月～3月)</li> <li>・保健師1名採用(任期付き)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康実態調査の実施</li> <li>・大口町制50周年</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電算システム「super 保健師さん」から「健康かるて」へ変更</li> <li>・国保・介護・健康プロジェクトに福祉を加え、名称をPPKプロジェクトから元気づくりプロジェクトに変更</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年5月制定)</li> <li>・大口町新型インフルエンザ等対策本部条例(平成25年3月制定)</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低出生体重児訪問の実施(未熟児訪問、未熟児養育医療給付の市町村への権限移譲)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCG ワクチンの接種期間の延長</li> <li>・子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌予防接種の定期接種の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関胃がん検診に胃内視鏡検査を導入</li> <li>・がん検診実施医療機関の追加(山田外科内科、みどりクリニック、伊藤整形内科あいち腰痛オペクリニック)</li> <li>・ポールウォーキングリーダー養成講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法の改正(平成25年3月30日公布、4月1日施行)</li> <li>・健康おおぐち21第二次計画策定(平成26年3月)</li> <li>・第7期健康推進員開始、任期2年となる</li> <li>・保健師1名採用</li> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成25年4月施行)</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;予防接種&gt;</li> <li>・子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の差し控え（6月～）</li> <li>・妊娠を予定または希望する女性とその夫に対する風しんワクチン接種費用の助成（7月～）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザ等対策政府行動計画策定（平成25年6月）</li> <li>・愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画策定（平成25年11月）</li> </ul>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦乳児健診に加え、産婦健診の費用補助を開始（4月～）</li> <li>&lt;予防接種&gt;</li> <li>・水痘、高齢者肺炎球菌定期接種の実施（10月～）</li> <li>・乳幼児及び学童のA類定期予防接種において、愛知県広域予防接種開始（4月～）</li> <li>・同一ワクチンの接種間隔の上限が撤廃された</li> <li>・大人の風疹ワクチン接種費用の助成に加え、風疹抗体検査費用の助成を開始（4月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病予防健診の対象者を40歳以上とし、無料とする。（4月～）</li> <li>・節目年齢（40・45・50・55・60歳）の人のがん検診の自己負担金を無料とする。</li> <li>・乳がん検診の拡充（MMGの年齢を35歳から引き下げ、超音波検査は、20歳以上は毎年受診可能とする。また、集団検診に加え、医療機関（さくら総合病院、犬山中央病院、江南厚生病院、伊藤整形内科あいち腰痛オペクリニック、すずいクリニック、山田外科・内科）での実施も開始</li> <li>・子宮頸がん検診の無料クーポン券の対象者を、20・40・45・50・55・60歳とする。</li> <li>・ヘリコバクターピロリ抗体及びペプシノゲン検査実施（11月～）</li> <li>・高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業の助成内容の変更（対象者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法の改正（平成26年3月28日公布、4月1日施行）（平成26年7月16日公布、10月1日施行）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・大口町新型インフルエンザ等対策行動計画策定（平成27年3月）</li> </ul>
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCG 予防接種時に保護者を対象とした「2万人体力測定」を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステム在宅医療・介護連携事業開始（H30年度～の実施に向けて）</li> <li>・糖尿病重症化予防講座を実施</li> <li>・高齢者対象のポールウォーキング講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町データヘルス計画（保健事業実施計画）策定（平成28年3月）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師2名産休（11月～1月・1月～3月）</li> <li>・地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業 2地区で実施（いきいき100歳体操）</li> <li>・健康マイレージ事業開始に向けた検討部会実施</li> </ul>

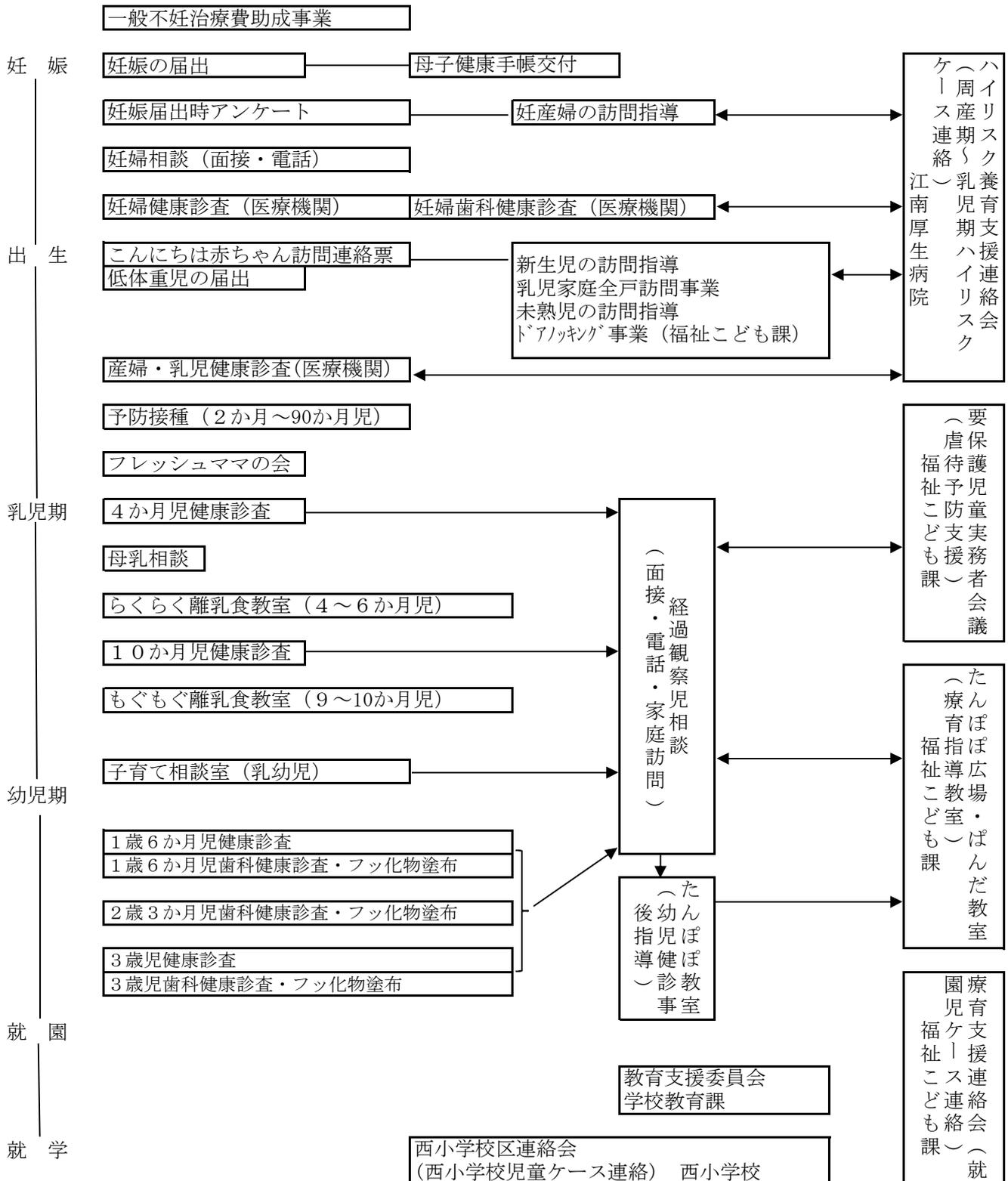
※平成元年～15年までは「平成21年度保健活動のまとめ」に記載。

## 2 母子保健活動

# 1 母子保健事業の取り組み

母子保健事業では、妊娠・出産・育児を通して母性や父性が育まれ、乳幼児が愛されかつ心身ともに健やかに育つことを目指し、子どもの発達や親の育児力に合わせた保健指導を行った。支援が必要なケースについては、医療機関や母子通園施設、福祉こども課等関係機関と連携して就学前まで継続的な子育て支援を行った。

## 母子保健 管理体系



## 2 一般不妊治療費助成事業

不妊症と診断され人工授精の治療を受けた夫婦を対象に、治療に要した自己負担額の1/2相当額を1年度あたり45,000円を限度に助成した。

### (1) 助成状況

年度	助成実組数 (新規申請数再掲)	うち母子健康手帳の 交付を受けた者の数
H25	8 (6) 組	1人
H26	9 (7) 組	1人
H27	9 (5) 組	2人

## 3 母子健康手帳の交付

妊娠の届出により母子健康手帳を交付し、妊婦が妊娠中を心身ともに健康に過ごし無事に出産を迎えることができるよう妊娠中及び産後の生活について保健指導を実施した。

(1) 日 時 説明会：毎月第1・3木曜日 午前10時～11時30分  
随時

(2) 内 容 母子健康手帳の交付 保健指導（母子健康手帳の使い方・妊娠中の生活）  
DVD視聴（「赤ちゃんのこころを育む親と子のふれあい」） 座談会  
\*随時の場合は手帳の交付と保健指導のみ

(3) 従事者 保健師 歯科衛生士 管理栄養士

(4) 妊娠届出者の状況 (単位：人)

年度	妊娠届出数	妊娠週数				
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	分娩後
H26	238	219 (92.0%)	17 (7.1%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
H27	219	192 (87.7%)	24 (11.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)

(単位：人)

年度	年齢		初産婦	就業有	喫煙有	飲酒有
	20歳未満	40歳以上				
H26	4 (1.7%)	9 (3.8%)	106 (44.5%)	121 (50.8%)	5 (2.1%)	1 (0.4%)
H27	5 (2.3%)	9 (4.1%)	110 (50.2%)	159 (72.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)

## 4 妊産婦乳児健康診査

妊娠の正常な経過や安全な分娩、産褥期の健康管理及び乳児の発達を支援するため、定期的な受診ができるように14回分の妊婦健康診査、産婦健康診査及び1か月児健康診査に対し受診票を発行し健診費用を助成した。

受診票利用状況（平成27年4月～平成28年3月受診）

内容	受診者数 (人)	医師判定(人)		所見(人)		
		異常なし	異常あり	蛋白尿 (2+以上)	尿糖 (2+以上)	血算 (異常あり)
子宮頸がん	210(7)	206	4			
第1回	215(4)	204	11	5	2	
第2回	211(3)	202	9	1	2	
第3回	209(3)	196	13	0	2	
第4回	218(3)	209	9	0	5	
第5回	211(3)	200	11	1	4	
第6回	220(5)	209	11	0	6	
第7回	223(6)	211	12	1	13	
第8回	220(4)	156	64	0	4	61
第9回	208(15)	199	9	0	6	
第10回	198(16)	185	13	1	6	
第11回	182(24)	181	1	1	7	
第12回	200(20)	149	51	1	6	50
第13回	139(22)	137	2	0	1	
第14回	87(11)	85	2	1	0	
1～14回合計	2741(139)	2,523	218	12	64	111
産婦健康診査	208	203	5	0	0	
乳児健康診査	216	206	10			

( ) 内は県外受診の再掲

## 5 家庭訪問

乳児家庭全戸訪問事業においては、乳児家庭の孤立化を防ぐために助産師又は保健師が生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに親子の健康状態や養育環境を把握し保健指導を行った。また、若年や妊娠高血圧症等のハイリスク妊婦、発達や発育に問題のある乳幼児、育児不安や家庭環境に問題のある親子、乳幼児健診未受診者に対し、安心して出産、育児ができるよう家庭を訪問し支援した。

(1) 従事者 保健師 助産師

(2) 実施状況（平成27年4月～平成28年3月実施分） (単位：人)

	妊婦		産婦		新生児		低出生体重児		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
実施数	0	0	3	3	5	5	20	21	197	199	17	23
(再掲) 乳児家庭全戸訪問 事業					5		20		190			

●過去3年間の低出生体重児の状況

(単位：人)

年	出生数	低体重児出生数	率 (%)	1,300g未満					
				1,300g ～ 1,499g	1,500g ～ 1,799g	1,800g ～ 1,999g	2,000g ～ 2,299g	2,300g ～ 2,499g	
H24	214	23	10.7	3	0	0	1	1	18
H25	199	12	6.0	—	—	—	—	5	7
H26	241	27	11.2	1	1	2	1	5	17
愛知県H26 (名古屋市除く)	45,902	4,512	9.8	242	96	245	309	1,295	2,325

(愛知県衛生年報より)

## 6 フレッシュママの会

育児の悩みを抱えやすい産後間もない母親同士が悩みを共感し前向きに育児に取り組めるように、仲間づくりを目的として生後2、3か月児の母親を対象にフレッシュママの会を開催した。平成26年度から、乳児の母親同士で情報交換ができるよう4か月から10か月までの親子を対象に交流会の場所を設定した。

- (1) 日 時 偶数月第4金曜日 午後1時30分～3時
- (2) 内 容 身体計測 座談会 ベビーマッサージ 集団指導（母親の食生活・保健事業の紹介・予防接種の受け方）\*4～10か月児交流会は場所の提供のみ。
- (3) 従事者 助産師 保健師 管理栄養士

(4) 参加状況

年度	実施回数	参加数（初産再掲）	
		フレッシュママの会	4～10か月児交流会
H25	6回	64（42）組	
H26	6回	66（42）組	60組
H27	6回	64（41）組	15組

## 7 子育て相談室

育児不安等の問題を抱える保護者が安心して育児に取り組めるよう発育相談、育児相談、栄養相談、発達相談を実施した。

- (1) 日 時 毎月第3月曜日 午前9時～11時30分（心理相談員による発達相談は奇数月）  
助産師による母乳相談は毎月第4水曜日 午後1時30分～2時15分
- (2) 内 容 身体計測 育児相談 経過観察児相談 母乳相談
- (3) 従事者 保健師 看護師 管理栄養士 心理相談員 助産師
- (4) 相談者の状況 (単位：人)

年度	利用者総数		再掲					
			妊婦		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H26	242	421	0	0	138	305	104	116
H27	207	361	0	0	123	267	84	94

<内訳>

(単位：人)

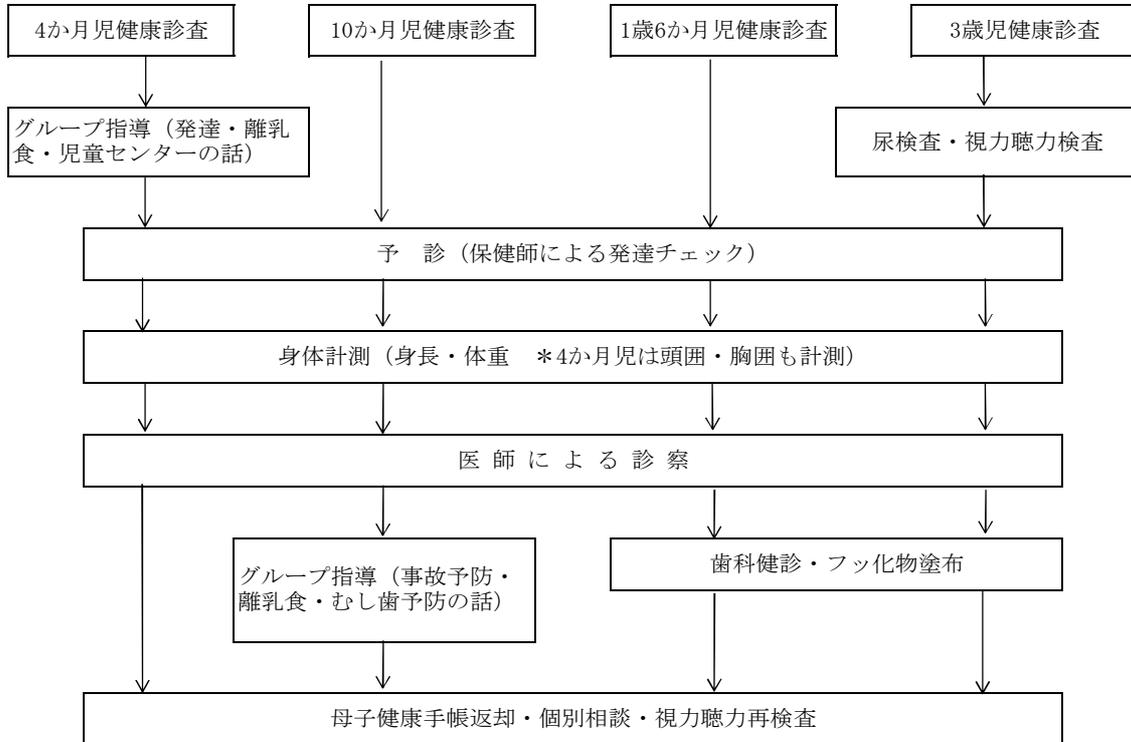
従事者	相談者総数<重複>		再掲					
			妊婦		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
保健師	83	93	0	0	38 (17)	47 (23)	45 (37)	46 (37)
助産師	38	51	0	0	37 (7)	50 (17)	1 (0)	1 (0)
栄養士	28	39	0	0	20 (7)	27 (9)	8 (4)	12 (8)
心理相談員	8	8					8 (7)	8 (7)
検尿	32	32	0	0			32 (32)	32 (32)
身体計測のみ	51	144			51	144		

※ ( ) 健診事後指導者数再掲

## 8 乳幼児健康診査

乳幼児期の大切な節目である時期に、先天性異常や視聴覚、運動機能、精神発達等の異常を早期に発見し、適切な指導を行い心身障害の進行を未然に防止するとともにむし歯の予防、発育、栄養、生活習慣、その他の育児に関する指導を行い、乳幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的として乳幼児健康診査を実施した。

### (1) 内容



### (2) 4か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H26	12	246	244	99.2%	205 (84.0)	21 (8.6)	12 (4.9)	1 (0.4)	5 (2.0)
H27	12	233	227	97.4%	199 (87.7)	15 (6.6)	11 (4.8)	1 (0.4)	1 (0.4)
愛知県 (H26)		42,859	42,136	98.3%	82.0%	6.4%	7.3%	1.1%	3.1%

### 4か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H26	243 (99.6)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)	195 (79.9)	0 (0.0)	49 (20.1)	0 (0.0)	222 (91.0)	2 (0.8)	20 (8.2)	0 (0.0)	244 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H27	226 (99.6)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)	205 (90.3)	10 (4.4)	11 (4.8)	1 (0.4)	210 (92.5)	4 (1.8)	13 (5.7)	0 (0.0)	227 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H26)	91.5%	3.1%	5.2%	0.2%	81.1%	10.9%	6.3%	1.8%	87.2%	7.9%	4.7%	0.2%	99.0%	0.7%	0.3%	0.0%

## (3) 10か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H26	12	216	211	97.7%	201 (95.3)	7 (3.3)	2 (0.9)	1 (0.5)	0 (0.0)
H27	12	262	258	98.5%	236 (91.5)	10 (3.9)	10 (3.9)	2 (0.8)	0 (0.0)

## 10か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H26	204 (96.7)	0 (0.0)	7 (3.3)	0 (0.0)	184 (87.2)	3 (1.4)	24 (11.4)	0 (0.0)	178 (84.4)	15 (7.1)	18 (8.5)	0 (0.0)	211 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H27	253 (98.1)	3 (1.2)	2 (0.8)	0 (0.0)	226 (87.6)	16 (6.2)	16 (6.2)	0 (0.0)	218 (84.5)	18 (7.0)	22 (8.5)	0 (0.0)	257 (99.6)	1 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)

## (4) 1歳6か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H26	12	222	222	100.0%	205 (92.3)	8 (3.6)	9 (4.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
H27	12	230	224	97.4%	203 (90.6)	10 (4.5)	10 (4.5)	0 (0.0)	1 (0.4)
愛知県 (H26)		44,485	43,542	97.9%	83.3%	5.2%	9.6%	0.6%	2.0%

## 1歳6か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H26	82 (36.9)	1 (0.5)	139 (62.6)	0 (0.0)	214 (96.4)	1 (0.5)	6 (2.7)	1 (0.5)	196 (88.3)	10 (4.5)	16 (7.2)	0 (0.0)	222 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H27	93 (41.5)	38 (17.0)	93 (41.5)	0 (0.0)	217 (96.9)	6 (2.7)	1 (0.4)	0 (0.0)	186 (83.0)	13 (5.8)	25 (11.2)	0 (0.0)	224 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H26)	47.2%	18.3%	33.8%	0.7%	83.1%	11.2%	4.2%	1.5%	84.5%	10.3%	4.9%	0.2%	98.0%	1.6%	0.3%	0.0%

## (5) 3歳児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H26	12	211	207	98.1%	177 (85.5)	6 (2.9)	6 (2.9)	0 (0.0)	18 (8.7)
H27	12	241	232	96.3%	189 (81.5)	10 (4.3)	4 (1.7)	0 (0.0)	29 (12.5)
愛知県 (H26)		45,400	43,879	96.6%	78.8%	4.6%	7.6%	0.6%	8.4%

## 3歳児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H26	139 (67.1)	4 (1.9)	49 (23.7)	15 (7.2)	196 (94.7)	3 (1.4)	7 (3.4)	1 (0.5)	187 (90.3)	7 (3.4)	12 (5.8)	1 (0.5)	206 (99.5)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)
H27	162 (69.8)	7 (3.0)	48 (20.7)	15 (6.5)	226 (97.4)	5 (2.2)	1 (0.4)	0 (0.0)	213 (91.8)	8 (3.4)	10 (4.3)	1 (0.4)	232 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
愛知県 (H26)	66.7%	16.6%	13.4%	3.3%	69.2%	15.9%	13.1%	1.7%	89.3%	7.5%	2.9%	0.3%	97.9%	1.7%	0.3%	0.1%

※ (1) ~ (5) ( ) 内は小数点第二位を四捨五入した値

## 9 たんぽぽ教室

1歳6か月児及び3歳児健康診査等で育児や発達について経過観察が必要となった親子を対象に、経過観察とともに親子遊びを通して子どもの発達を促し、また、親が子どもの対応を学び子育ての困難さや不安を軽減できるよう支援することを目的として教室を開催した。教室を終了した親子には、必要に応じ継続して療育指導を受けられるよう母子通園施設やたんぽぽ広場の参加を勧奨した。

- (1) 日 時 毎月第2・4木曜日 午前9時45分～正午  
(スタッフカンファレンスは午前9時15分～9時45分、午後1時～3時)
- (2) 参加回数 1クール6回 (必要に応じ2クールまで継続参加)
- (3) 従事者 保健師 保育士 心理相談員 (第2木曜日) 言語聴覚士 (第4木曜日)  
家庭児童相談員 (年12回) 母子通園施設保育士 (年3回)
- (4) 内 容

時 間	内 容
9 : 45～10 : 00	出席シール貼り
10 : 00～11 : 00	自由遊び、あいさつ、体操 ふれあい遊び、手遊び、絵本よみきかせ 設定遊び (新聞、粘土、風呂敷、お絵描き、サーキット、制作)
11 : 00～11 : 30	母子分離 (1クール2回実施。母親：心理相談員か言語聴覚士によるグループ話し合い、子ども：自由遊び)
11 : 30～正午	個別相談 (3回目・6回目)

- (5) 実施状況 (単位：人)

年度	回数	参加人数	
		実人数	延人数
H25	24	49	234
H26	24	47	219
H27	24	38	169

- (6) 参加者年齢内訳

H24年4月～H25年3月生まれの子 (次年度就園対象年齢) 26人  
H25年4月～H26年3月生まれの子 12人

- (7) 教室終了後の状況

①母子通園施設を紹介 12人 (内参加希望なし2人)  
②たんぽぽ広場を紹介 15人 (内参加希望なし1人)  
③次年度継続参加を案内 4人  
④終了 10人 (内中断2人、就園5人)

## 10 離乳食教室

### (1) 目的及び対象者等

	らくらく離乳食教室（前期）	もぐもぐ教室（後期）
目的	離乳食の開始から7か月頃の意義について正しく理解し、一生のうちで離乳食期が食習慣の形成に大切な時期であることを認識する。	咀嚼の促しの必要性や歯の萌出に合わせた離乳食の形態を理解し作ることができる。また、離乳食だけではなく、家族の食事としての充実を図る。
対象者	生後5～7か月児とその保護者	生後8～11か月児とその保護者
日時	奇数月第3水曜日（年6回） 午前10時～11時30分	偶数月第3水曜日（年6回） 午前9時30分～11時30分
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食の開始から7か月頃の講話</li> <li>離乳食のデモンストレーションとその試食</li> <li>個別相談（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9か月頃以降の進め方についての講話</li> <li>調理実習（親の食事からの取り分け食）</li> <li>試食と個別相談（希望者）</li> </ul>
従事者	管理栄養士 保健師	
場所	健康文化センター1階 栄養実習室・栄養指導室	

### (2) 参加状況

(ア) らくらく離乳食教室の参加内訳 1回あたり11人の参加

参加人数	5か月未満児	5・6か月児	7か月以上児	個別相談者	第1子	第2子
66人	12人	54人	0人	35人	45人	21人

(イ) もぐもぐ教室の参加内訳 1回あたり10.5人の参加

参加人数	9か月未満児	9・10か月児	11か月以上児	個別相談者	第1子	第2子
63人	15人	41人	7人	51人	49人	14人

両教室とも、第2子以降の参加が微増している。

らくらく離乳食教室では、離乳食開始時期を生後6か月以降に計画する保護者が多く、参加者の半数は個別相談を希望する。相談内容は、基本的な進め方や調理方法についての質問の他、離乳食を与えたときの子どもの反応や食べ方に不安を感じて相談する人が多い。また、食物アレルギーを心配して自己判断で特定の食品を避ける保護者もいる。一方、保護者の食生活を聞き取ると、朝食や昼食に野菜を与えていない保護者が多い。

もぐもぐ教室は、昨年度より参加者が増加している。ほとんどの参加者が「これでいいのか」といった漠然とした不安を抱いている傾向があり、参加者の8割が個別相談を希望する。食形態のすすめ方や生活リズム、ベビーフードの利用や母の職場復帰に向けた保育園対応等、多岐にわたる。調理実習や試食を体験することで、食材の切り方や子供の咀嚼力に驚きを示す保護者が多い。実際に大人の食事から取り分けて離乳食を作ることで、家庭の離乳食と比較したり食べ方をみたりすることで、今後のすすめ方に見通しが持てたといった前向きな感想が多い。

## 1 1 子育て支援・他機関との連携

### (1) 赤ちゃん抱っこ体験（中学生子育て体験）

大口町次世代育成支援後期行動計画の「次代の親を育むための教育」として、中学生が乳幼児とのふれあいを通じて自分を大切にする気持ちや命の尊さ、人を思いやる心を養うことを目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時・場所・参加者（中学生）

平成27年8月4日（火）午前9時30分～11時45分・北児童センター・13人

#### イ 従事者

児童センター厚生員 保健師 中学校養護教諭 子育てネットワークカー

### (2) 療育支援連絡会

乳幼児期の療育支援のあり方についての検討会や要支援ケースの情報交換を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時

平成27年5月8日（木） 8月6日（木） 11月5日（木） 平成28年2月4日（木）

午後3時～5時15分

#### イ 出席者

保育長 保育園（南・北・西・大口中） 母子通園 児童センター（南・北・西）  
幼稚園（ラ・モーナ 大口） 家庭児童相談員 保健師

### (3) 西小学校区連絡会

大口町の子どもたちを取り巻く様々な現状や課題について情報交換及び検討することを目的として開催された。（主催：西小学校）

#### ア 日時

<支援部会>平成27年5月12日（火） 11月11日（水）

平成28年2月9日（火） 午後4時～5時

<健康部会>平成28年3月16日（水） 午後4時～5時

#### イ 出席者

西小学校 中学校 幼稚園（ラ・モーナ 大口） 保育園（北・西）  
西児童センター 保育長 保健師

### (4) 要保護児童実務者会議

児童虐待に関する情報交換及び要保護児童等の実態把握、支援体制の検討を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時

毎月第1木曜日 午後1時30分～3時

#### イ 出席者

一宮児童相談センター（児童福祉司） 尾張福祉相談センター（家庭児童相談員）

江南保健所（保健師） 福祉こども課 学校教育課 健康生きがい課（保健師）

#### (5) ハイリスク養育支援連絡会

江南厚生病院こども医療センター、NICU・GCU病棟、産婦人科を含む女性病棟、小児科及び産婦人科外来と、保健所、市町保健センターが連携を図り、ハイリスク児またはハイリスクの可能性のある児の家庭における育児支援体制を円滑にするための情報交換をすることを目的として開催された。（主催：江南厚生病院）

##### ア 日時

平成27年6月2日（火） 9月1日（火） 12月1日（火） 平成28年3月1日（火）  
午後4時～5時

##### イ 出席者

江南厚生病院（こども医療センター 産婦人科病棟 NICU・GCU 小児科外来  
産婦人科外来 医療福祉相談室）

江南保健所

保健センター（岩倉市 江南市 犬山市 扶桑町 大口町）

#### (6) ドアノッキング事業

子育てに悩み家にひきこもりがちになってしまう乳幼児期の子育て家庭に対し、地域ぐるみで家庭を見守り子育てを支援することで虐待を防止することを目的に、子育て情報のお知らせ等を行うドアノッキング訪問が実施された。（主催：福祉こども課）

##### ア 訪問時期

生後5～6か月と1歳頃

##### イ 従事者

主任児童委員

民生委員・児童委員

#### (7) たんぽぽ広場

たんぽぽ教室を終了した親子が就園するまで継続して地域で療育支援を受けられるよう西児童センターにおいて親子遊びの教室が開催された。（主催：福祉こども課）

#### (8) 保育園児に向けた食育の取り組み

町内の4保育園において、様々な食育の取り組みの中で保育園栄養士と連携し、給食を題材に食べ物の体への効果を説き、好き嫌いなく、バランスよく食べる食行動ができるよう園児に啓発した。

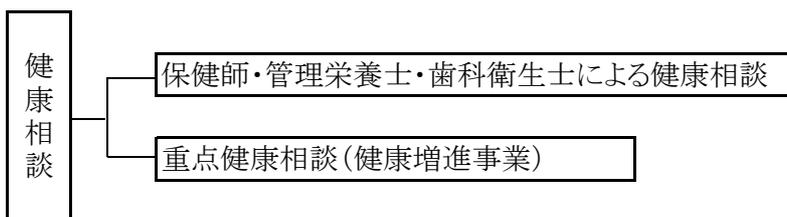
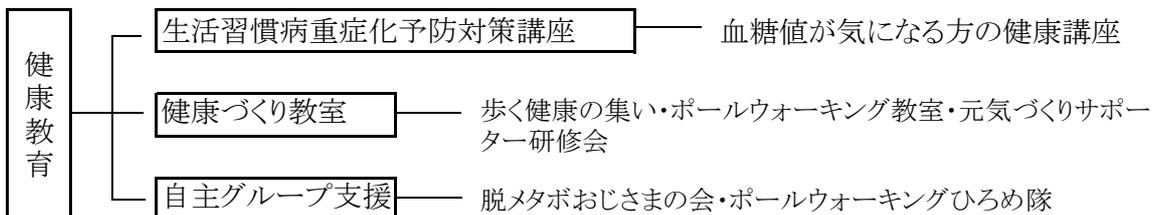
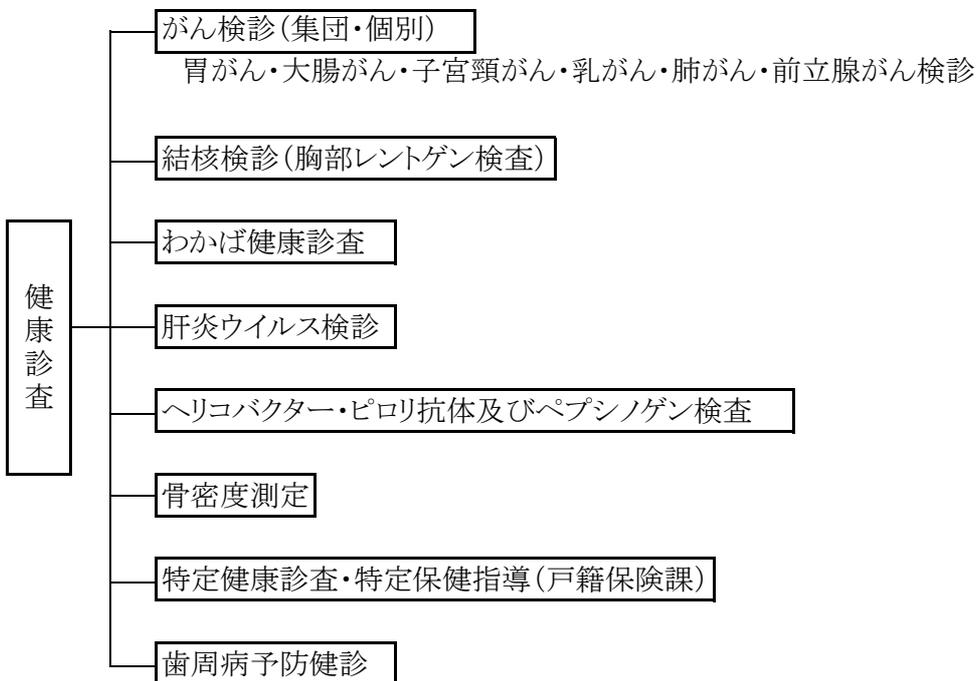
実施月及び対象児	内 容	実施人数
12月中 年長児クラス	「食べ物と身体機能（腸）について」 ・朝食の喫食状況と野菜摂取の聞き取り ・食べ物からうんちができるまで（いいうんちの形）	129人
1月中 年中児クラス	「赤・黄・緑をバランスよく食べて いいうんちを出そう」 ・朝食の喫食状況と野菜摂取の聞き取り ・好き嫌いをしない ・よく噛んで食べる	142人
2月中 年少児クラス	「好き嫌いなく食べていいうんちを出そう」 ・朝食の喫食状況と野菜摂取の聞き取り ・野菜の断面クイズ ・うんちの形と野菜のはたらき	135人

今年度は保育園で行っている木育と連動して、「箸のもち方・使い方」を加えた。特に年中児は自分たちで作成した「マイ箸」を使って実施した。箸のもち方だけでなく食べる姿勢やマナー

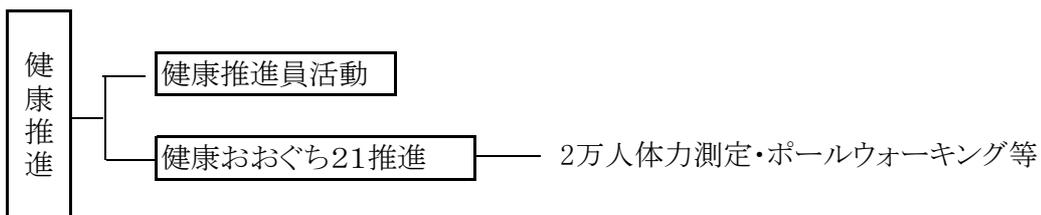
### 3 成人保健活動

# 成人保健管理体系

健康手帳(健康づくりノート、検診パスポート)の交付



家庭訪問 — 生活習慣病重症化予防対策訪問、その他



介護予防事業 — 老人クラブ健康教育等

## 1 成人保健の取り組み

健康増進法に基づき実施する。住民の健康意識の高揚、よりよい健康習慣の定着を図ることにより、健康増進、疾病予防、介護予防などに役立てる。

平成5年12月に「健康の町」宣言をし、平成16年3月には大口町の健康づくり計画「健康おおぐち21」を住民と行政とともに策定し、地区住民の意識の高揚と地区活動を積極的に推進してきた。平成25年度に第二次計画を策定し、平成27年度は計画の推進を図った。

＜平成27年度の重点的な取り組み＞

- ① がん検診等の受診率向上に向けた取り組み
  - ・40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の節目年齢の住民を対象に、胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺がん検診の無料クーポン券事業を継続して実施した。
  - ・無料クーポン券を送付した節目年齢の未受診者に対し、個別通知による再勧奨を実施した。
- ② ポールウォーキングの推進
  - ・ポールウォーキングの普及啓発として各地区の自主グループの醸成に焦点を絞り、ポールウォーキングリーダーとの連絡調整のための定例会（名称：さくらPW定例会）を開催し、各自主グループの状況を把握するとともに交流会を兼ねた町外ポールウォーキングを行った。介護予防の視点でポールウォーキング講座を開催し、その他昨年度に引き続いて、健康まつりやさくら並木ジョギングなど様々な機会を通して普及啓発を行った。
- ③ 国保・介護・健康・福祉の各グループの連携した取り組み
  - ・各グループが連携し、「血管を守ろう！」をテーマに健康寿命を延ばす取り組みを展開。
  - ・「10年後も元気」を合言葉に2万人体力測定を実施。
  - ・重症化対策として、特定健診受診者のうちコントロール不良者に対し家庭訪問を行った。
- ④ 健康面での自己管理の意識づけの取り組み
  - ・自己管理の意識づけと検診の記録管理のために健康づくりノートを作成し、健康推進員活動や老人クラブ等で健康づくりについての講話時等に配布した。

## 2 健康手帳の交付

### (1) 目的

健康増進法に基づき交付。がん検診等の検診結果の記録や自身の健康状態を記入し、自らの健康への意識の向上を図る。

### (2) 方法

健康面での自己管理の意識づけと検診記録の管理のために大口町独自の健康手帳として健康づくりノートと検診履歴管理のための検診パスポートを作成した。がん検診、健康相談、特定健康診査、特定保健指導の会場等での配布や、健康推進員活動や老人クラブ等での健康づくりについての講話時、随時希望者へ配布する。

### (3) 対象 20歳以上の住民、その他希望者

### (4) 交付状況 健康づくりノートの発行 333人、検診パスポート 850人

### 3 特定健康診査・特定保健指導

#### (1) 目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、保険者は40歳以上の被保険者および被扶養者に対し、メタボリックシンドロームに着目した健康診査・保健指導を行うことにより、生活習慣病のリスク要因の減少を図り、糖尿病等、生活習慣病の有病者、予備群を減少させる。

#### (2) 特定健康診査の対象者

大口町国民健康保険被保険者および被扶養者(40歳～74歳)

#### (3) 特定健康診査の実施期間及び実施場所

人間ドック 5月～8月 人間ドック委託医療機関

個別健診 7月～10月 大口町・扶桑町の委託医療機関

集団健診 平成28年1月16日(土) 大口町保健センター

\*健康診査の実施主体は戸籍保険課

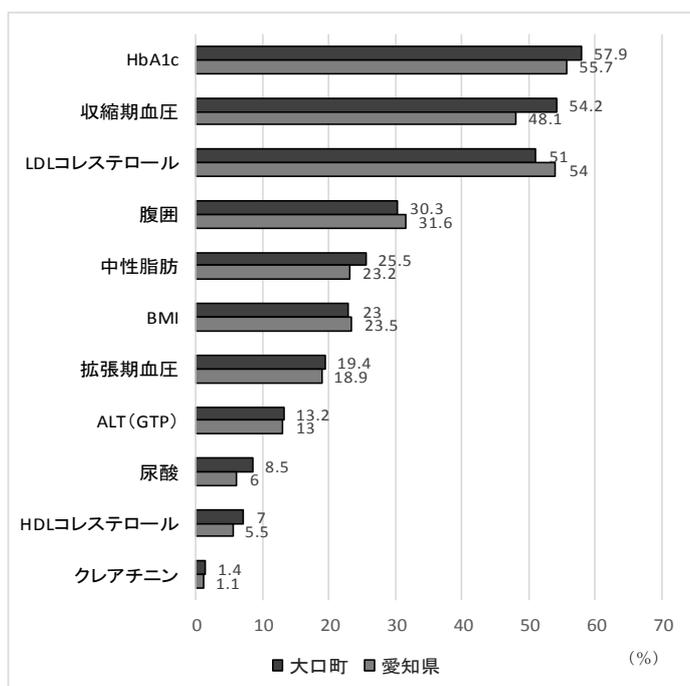
#### (4) 平成27年度特定健診受診者数

(H28.3.31現在 途中加入者および資格喪失による除外者を含む)

受診券発行者数	3,804人
特定健康診査受診者数	1,772人

特定健康診査受診率
<b>46.6%</b>

#### (5) 平成27年度特定健診受診者の有所見者状況と割合



※備考 (有所見者)

HbA1c : 5.6%以上

収縮期血圧 : 130mmHg 以上

LDL コレステロール : 120mg/dℓ 以上

腹囲 : 男性 85cm 以上

女性 90cm 以上

中性脂肪 : 150mg/dℓ 以上

BMI : 25 以上

拡張期血圧 : 85mmHg 以上

ALT (GPT) : 31IU/ℓ 以上

尿酸 : 7.0mg/dℓ 以上

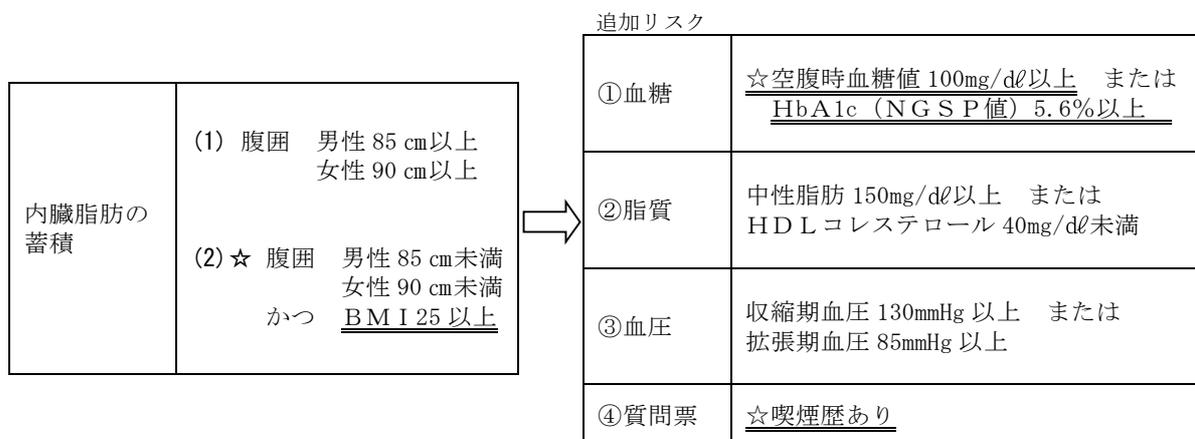
HDL コレステロール : 40mg/dℓ 未満

クレアチニン : 1.3mg/dℓ 以上

平成27年度国保データベース有所見者状況より

(6) 特定保健指導対象者の選定

特定健康診査結果から、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因の数に着目し、リスクの高さや年齢に応じ、動機付け支援・積極的支援のレベル別に対象者を選定します。

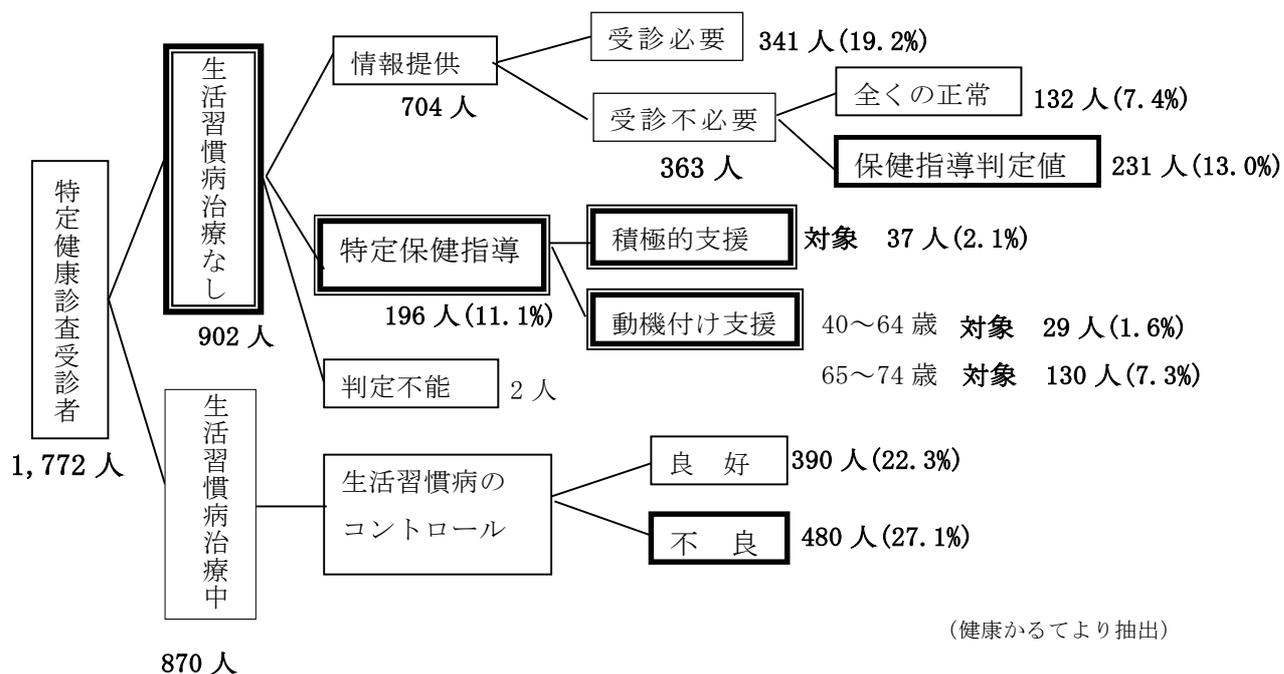


指導レベルのグループ分け

追加リスクの数	(1) の場合 (腹囲)	(2) の場合 (BMI)
3つ以上	積極的支援レベル	積極的支援レベル
2つ		動機付け支援レベル
1つ	動機付け支援レベル	
0	情報提供レベル	情報提供レベル

- (注) 1 喫煙歴については、①～③のリスクが1つ以上の場合のみカウントする。  
 2 前期高齢者(65歳～74歳)は、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。  
 3 服薬中の人は医療保険者による特定保健指導の対象としない。

特定保健指導階層化



(7) 特定保健指導 利用状況《27年度》(資格喪失による除外者を含む H28.3 現在)

特定保健指導利用人数

利用者 男女別

	対象者	利用者	利用率
動機づけ 40～64歳	29人	7人	24.1%
動機づけ 65歳以上	130人	23人	17.7%
積極的	37人	11人	29.7%
全体	196人	41人	20.9%

男性	女性
27人	14人
65.9%	34.1%

**保健指導利用率**  
**20.9%**

平成27年度 特定保健指導 実施状況

	初回支援 集団または個別	継続支援 個別	運動支援(※1) 集団または個別	継続支援 個別	中間評価 (積極的支援のみ)	継続支援 電話	6ヶ月評価 集団または個別
1クール	H27年9月実施 個別 3人	H27年10月	①集団(からだスッキリ運動講座) 【開催日】 H27.10/29 12/16 H28. 2/ 8 3/25 【参加者数】: 計73名 特定保健指導参加者 : 6人 重症化対策対象者(※2): 46人 その他、希望者 : 22人 ②個別(ライフコーダ支援) 進化型歩数計(ライフコーダ) による身体活動の支援 【参加者】11名	H27年11月	H27年12月実施 個別 1人	H28年2月	H28年3月実施 個別 3人
2クール	H27年11月実施 集団 2人 個別 6人	H27年12月		H28年1月	H28年2月実施 個別 1人	H28年4月	H28年5月実施 実施予定
3クール	H28年1月実施 集団 2人 個別 8人	H28年2月		H28年3月	H28年4月実施 個別 4人	H28年6月 実施予定	H28年7月 実施予定
4クール	H28年2月実施 集団 2人 個別 14人	H28年3月		H28年4月	H28年5月 実施予定	H28年7月 実施予定	H28年8月 実施予定

※1 運動支援: H27年度より、公開講座として国保人間ドック、特定健診受診者等を対象に広く啓発。同一内容の講座を計4回実施した。

※2 重症化対策対象者: H27年度実施の「血糖値が気になる方の健康講座」参加者、および重症化予防訪問事業にて参加勧奨をした重症化予防対象者。

\* 江南厚生病院へ特定保健指導委託: 7月～3月(国民健康保険人間ドック実施者のみ)

H27年度利用者人数 4人

(8) 平成26年度 特定健診・特定保健指導 法定報告

資料: 平成26年度 市町村国保特定健診・保健指導実施状況概況報告書

(単位: %)

	全国	愛知県	大口町
特定健康診査 受診率	35.4	38.2	48.6
特定保健指導 終了率	24.4	16.5	24.6
(積極的支援) 終了率	15.6	10.5	20.0
(動機付け支援) 終了率	27.4	18.0	25.5
内臓脂肪症候群該当者の減少率	—	—	25.9
内臓脂肪症候群該当者	16.6	18.3	17.8
内臓脂肪症候群予備群	10.6	10.0	9.4
高血圧服薬治療中	33.9	35.7	35.5
脂質異常症服薬治療中	23.2	26.8	28.0
糖尿病服薬治療中	7.1	8.4	8.8

(9) 平成 26 年度特定保健指導実施者の状況と支援の内訳

《終了者の状況》

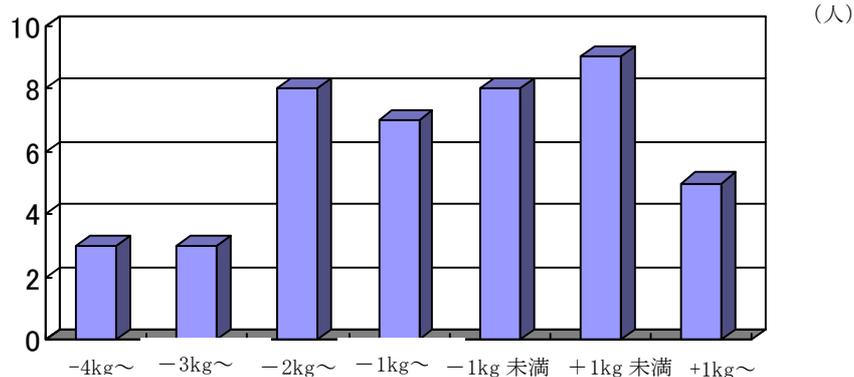
		対象者	参加者	参加率	終了者	対参加者 終了率	対対象者 終了率
積極的支援		30 人	8 人	26.7%	6 人	75.0%	20.0%
動機づけ支援	40～64 歳	20 人	4 人	20.0%	4 人	100.0%	20.0%
	65～74 歳	129 人	35 人	27.1%	34 人	97.1%	26.4%
	合計	179 人	47 人	26.3%	44 人	93.6%	24.6%

(10) 平成 26 年度特定保健指導利用者の変化

《体重、腹囲の変化》

	最大	最小	中央値
体重の変化	-4.7kg	+6.7kg	-0.8kg
腹囲の変化	-6.5 cm	+8.8 cm	-1.0 cm

特定保健指導利用者の体重変化別人数



《生活習慣の変化》 評価対象者：積極的支援 6 名、動機づけ支援 38 名

		改善	変化なし	悪化
食生活	積極的支援	5 人	1 人	—
	動機づけ支援	32 人	5 人	1 人
身体活動	積極的支援	3 人	2 人	1 人
	動機づけ支援	33 人	3 人	2 人

(11) 特定健診後のサポート：重症化予防 《平成 27 年度》

重症化予防の対策として、対象者の家庭を訪問し、現在の治療状況や様子に応じて健康相談を実施した。

また、大口町において有所見者が多く、医療費の上位を占めている糖尿病についての意識啓発と重症化予防を図るため、「血糖値が気になる方の健康講座(全 5 回コース)」を実施した。(健康講座の実施主体は健康生きがい課)

《重症化予防のための訪問（からだイキイキ訪問）》

- 対象者 ①血圧 : 収縮期血圧 160mmHg 以上または拡張期血圧 100mmHg 以上  
 ②血糖 : HbA1c 7.0%以上  
 ③腎機能 : eGFR 50 未満 (70 歳以上は eGFR 40 未満)  
 ①～③のいずれかに該当し、かつ該当項目①②については該当項目に  
 対する服薬治療をしていない方

※上記のうち、検査値、年齢、リスクの重なり等を踏まえて優先順位を検討し、優先度の高い対象者から順に訪問。

○実施状況（訪問件数等）

	対象者数	実施者数		状況確認ができた人数
		訪問・来所	電話	
血圧	55 人	14 人	41 人	39 人 (70.9%)
血糖	21 人	16 人	5 人	17 人 (81.0%)
その他 (脂質)	2 人	2 人	—	2 人 (100%)
腎機能	27 人	24 人	3 人	22 人 (81.2%)
合計	105 人	56 人	49 人	80 人 (76.2%)

※訪問時、不在だった場合は、健診結果や病態、生活習慣に関するリーフレット等の資料を投函、啓発に努めた。

○訪問実施者の状況

フォロー対象者 (状況確認ができた方 80 人)		
健診後の受診状況	すでに服薬治療中	7 人
	健診後、服薬治療開始	16 人
	その他、医療管理中	12 人
	生活指導を受けた	5 人
	経過観察	12 人
	未治療 (放置可との診断)	6 人
	放置 (未受診含む)	22 人
生活習慣の改善状況	自分なりに改善中	51 人
	改善の意思はある (準備期)	8 人
	気にしていない	13 人
	その他	8 人

(12) H26 年度重症化予防訪問実施者の変化

	血圧	血糖値	腎機能
治療なし、検査値改善あり	5 人	2 人	3 人
服薬なし、検査値改善なし	2 人	2 人	1 人
医療管理中	2 人	7 人	16 人
治療なし、健診未受診	2 人	—	3 人
その他	1 人	1 人	2 人

検査値は H27 年度特定健康診査・後期高齢者健康診査結果にて判定

## 4 がん検診

### (1) 目的

がんを早期発見し、適切な治療につなげることによりがんの死亡率を減少させる。

### (2) 検診の内容

種類	検査項目	委託機関 (検診機関数・実施期間)	対象者	自己負担金
胃がん検診	胃部 X 線撮影	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午前 3 日間) 尾北医師会 (町内 7 医療機関)	20 歳以上	集団 1,000 円 個別 2,000 円
	胃部内視鏡検査	尾北医師会 (町内 5 医療機関)	40 歳以上	個別 2,000 円
大腸がん検診	便潜血反応	名古屋公衆医学研究所 尾北医師会 (町内 7 医療機関)	20 歳以上	集団 400 円 個別 500 円
子宮頸がん検診	視診、細胞診	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午後 4 日間) 尾北医師会 (町外 3 医療機関)	20 歳以上	集団 800 円 個別 1,000 円
乳がん検診	乳房 X 線検査	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午前午後 4 日間) 町内 1、町外 3 医療機関	35 歳以上	集団 1,000 円 個別 1,500 円
	乳房超音波検査	名古屋公衆医学研究所 (1 会場・午前 3 日間) 町内 3、町外 2 医療機関	20 歳以上	集団 700 円 個別 1,500 円
肺がん検診	胸部 X 線検査 (喀痰検査)	名古屋公衆医学研究所 (11 会場・4 日間) 尾北医師会 (町内 7 医療機関)	20 歳以上 (50 歳以上で喫煙 指数 600 以上)	集団 無 料 個別 500 円 (集団 300 円、個別 1000 円)
前立腺がん検診	PSA 検査	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場午前・午後各 1 回)	50 歳以上	集団 300 円

### (3) 無料クーポン券事業対象者

対 象 者	検診の種類							
	男性 (人)	女性 (人)	胃 が ん	大 腸 が ん	子 宮 頸 が ん	乳 が ん	肺 が ん	前 立 腺 が ん
平成 6 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日生		116			女性			
昭和 49 年 4 月 2 日～昭和 50 年 4 月 1 日生	191	186	●	●	女性	女性	●	
昭和 44 年 4 月 2 日～昭和 45 年 4 月 1 日生	168	186	●	●	女性	女性	●	
昭和 39 年 4 月 2 日～昭和 40 年 4 月 1 日生	159	148	●	●	女性	女性	●	男性
昭和 34 年 4 月 2 日～昭和 35 年 4 月 1 日生	100	114	●	●	女性	女性	●	男性
昭和 29 年 4 月 2 日～昭和 30 年 4 月 1 日生	120	134	●	●	女性	女性	●	男性

(4) がん検診結果

ア 胃がん検診 (X線検査)

\*40歳未満を除く

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精 検者 数	要精 検率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精検結果		
		集団	医療 機関	異常なし						がん	その 他の 疾患	
25	4,725	343	202	141	7.3	19	5.5	18	94.7	2	2	14
26	4,725	338	194	144	7.2	28	8.3	24	85.7	5	0	19
27	5,421 (1,506)	312 (82)	194 (34)	118 (48)	5.8	20	6.4	16	80.0	0	0	16

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

イ 胃がん検診 (内視鏡検査)

(人)

年度	対象者数	受診者数		受診率 %	要精 検者 数	要精 検率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精検結果			
		集団	医療 機関						異常なし	がん	その 他の 疾患	
25	4,725	212	/	212	4.5	23	10.8	23	100	1	0	22
26	4,725	546	/	546	11.6	6	1.1	6	100	0	0	6
27	5,421 (1,506)	565 (169)	/	565 (169)	10.4	2	0.4	2	100	0	1	1

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

ウ 大腸がん検診

\*40歳未満を除く

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精 検者 数	要精 検率 %	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精検結果		
		集団	医療 機関	異常なし						がん	その 他の 疾患	
25	4,725	1,026	409	617	21.7	92	9.0	83	90.2	29	3	51
26	4,725	1,202	465	737	25.4	112	9.3	96	85.7	46	4	46
27 ※	5,421 (1,506)	1,219 (263)	439 (59)	780 (204)	22.5	100	8.2	89	89.0	27	3	59

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

※集団及び医療機関重複受診者 (5人) は実人員を計上

エ 子宮頸がん検診

\*20歳未満を除く

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果					
		集団	医療機関	異常なし						上皮内病変	子宮頸がん	子宮体がん	その他のがん	その他の疾患	
25	4,301	723	267	456	16.8	27	3.73	21	77.8	12	7	1	0	0	1
26	4,301	655	208	447	15.2	11	1.68	8	72.7	4	3	0	0	0	1
27 ※	4,469 (884)	666 (218)	227 (77)	439 (141)	14.9	8	1.20	5	62.5	4	0	0	0	0	1

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

※医療機関受診者は妊婦健康診査分を合わせて集計。集団及び妊婦健康診査重複受診者(1人)は医療機関で計上。

オ 乳がん検診(視触診+マンモグラフィ検査)

\*40歳未満を除く

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関	異常なし						がん	その他の疾患	
25	3,112	497	270	227	16.0	73	14.7	67	91.8	41	4	22
26	3,112	416	214	202	13.4	30	7.2	26	86.7	16	0	10
27	3,453 (768)	420 (208)	212 (76)	208 (132)	12.2	35	8.3	32	91.4	22	0	10

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

カ 乳がん検診(視触診+エコー検査)

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関	異常なし						がん	その他の疾患	
25		98	98	0		4	4.1	2	50.0	1	0	1
26		195	94	101		12	6.2	9	75.0	3	0	6
27		254 (49)	101 (6)	153 (43)		20	7.9	15	75.0	8	0	7

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

キ 肺がん検診（X線検査）

\*40歳未満を除く

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果			
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患	診断保留
25	4,725	1,117	554	563	23.6	9	0.81	8	89.0	3	0	3	2
26	4,725	1,425	648	777	30.2	20	1.4	19	95.0	10	1	5	3
27 ※	5,421 (1,506)	1,312 (244)	535 (37)	777 (207)	24.2	9	0.69	9	100	3	0	3	3

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

※集団及び医療機関重複受診者（4人）は実人員を計上

ク 肺がん検診（かくたん検査）

(人)

年度	対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果			
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患	診断保留
25	196	34	18	16	17.4	0							
26	218	49	18	31	22.5	0							
27	182	36	10	26	19.8	0							

ケ 前立腺がん検診

(人)

年度	対象者数	受診者数	受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
								異常なし	がん	その他の疾患
25	1,532	155	10.1	6	3.9	3	50.0	0	2	1
26	1,532	172	11.2	9	5.2	7	77.8	5	0	2
27	1,855 (379)	182 (45)	9.8	12	6.6	10	83.3	3	1	6

( ) 無料クーポン券利用者数再掲

## 5 結核検診

### (1) 目的

感染症法に基づき、定期的に結核健康診断を実施することにより、結核の早期治療・早期治療につなげることを目的とする。

### (2) 対象

40歳以上の町民で会社・学校等で検診を受ける機会のない者

### (3) 実施日

平成27年5月26日（月）・27日（火）、6月2日（月）・3日（火） 4日間

### (4) 内容

胸部レントゲン検査（間接撮影）

### (5) 検査結果

(人)

年齢	受診者数	検査判定区分								D判定者精検結果				
		A	B	C	D1	D2	D3	D4	E	異常なし	結核	がん	その他の疾患	診断保留
40～49歳	28	0	24	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
50～59歳	39	0	32	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
60～69歳	171	0	126	39	0	3	0	1	2	2	0	0	2	0
70歳以上	297	0	182	98	1	5	1	9	1	4	0	2	4	6
合計	535	0	364	146	1	9	1	10	4	6	0	2	6	7

#### 【検査判定区分】

A：読影不能

B：異常なし

C：異常を認めるが精査を必要としない

D1：治療を要する結核を疑う

D2：肺炎、気胸など治療を要する状態を疑う

D3：心大血管異常で治療を要する状態を疑う

D4：縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍など治療を要する状態を疑う

E：肺がんの疑い

## 6 わかば健康診査

### (1) 目的

20・30歳代の若い年代で健診を受ける機会のない者を対象とし、生活習慣病の早期発見および生活習慣の改善に向けた指導を行い、予防意識の向上を図る。健康相談を通して日常生活を見直し、健康の保持増進を図る。

### (2) 対象 20・30歳代の町民で健診を受ける機会のない者

### (3) 日時 平成28年1月16日(土) 午前9時～11時30分

### (4) 内容 身長・体重・腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査(脂質・貧血・肝機能・糖代謝・腎機能検査)、医師による診察

保健師の話(健診結果の活かし方と結果説明会の案内について)

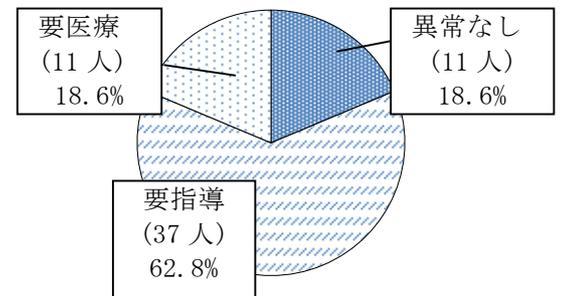
### (5) 実施結果

#### ア 年齢別受診者数

(単位：人)

年度	男		女		合計
	20歳代	30歳代	20歳代	30歳代	
23	0	2	6	31	39
24	0	0	7	39	46
25	0	5	6	53	64
26	3	2	11	40	56
27	0	5	6	48	59

#### イ 総合判定

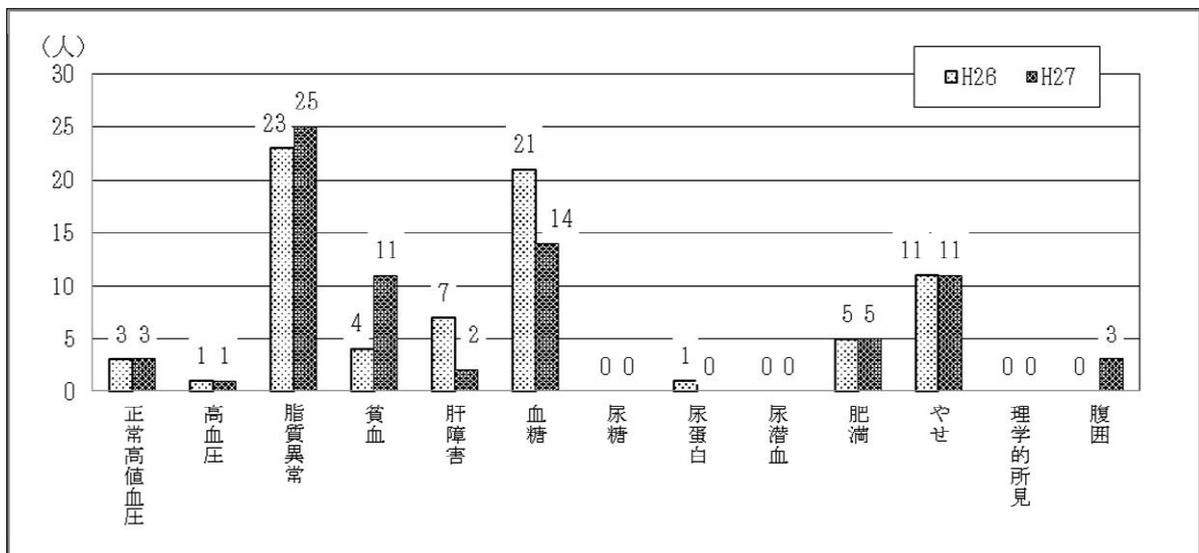


#### ウ 要指導・要医療の疾病分類(延べ数)

(単位：人)

年度	正常高値血圧	高血圧	脂質異常	貧血	肝障害	血糖	尿糖	尿蛋白	尿潜血	肥満	やせ	理学的所見	腹囲
23	1	0	9	1	1	15	0	2	0	1	6	1	2
24	0	0	12	9	3	27	0	1	0	1	8	0	2
25	0	3	17	8	4	10	0	4	0	4	18	0	3
26	3	1	23	4	7	21	0	1	0	5	11	0	0
27	3	1	25	11	2	14	0	0	0	5	11	0	3

※平成27年度はその他として、クレアチニン11人、尿酸1人、尿素窒素1人。



## 7 肝炎ウイルス検診

### (1) 目的

健康増進法に基づき、肝炎対策の推進の観点から住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関に受診することにより肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し進行を遅延させることを目的とする。

### (2) 対象

満 40 歳の者（年度末年齢）

満 41 歳以上で過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく、検診を希望する者

### (3) 実施場所

大口町・扶桑町の委託医療機関

### (4) 実施期間

平成 27 年 7 月 1 日～10 月 31 日

ただし、大口町の胃がん検診（胃内視鏡検査）を受ける場合は、大口町の医療機関に限りがん検診実施期間中も可能とする。

### (5) 内容

問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査

### (6) 実施状況

（単位：人）

区分 \ 項目	受診者	HBs抗原検査		C型肝炎ウイルス検査	
		陰性	陽性	現在、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染していない可能性が極めて高い	現在、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染している可能性が極めて高い
40 歳	37	37	0	37	0
その他の年齢	100	98	2	100	0
計	137	135	2	137	0

## 8 ヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲン検査

### (1) 目的

ヘリコバクター・ピロリ感染の有無とペプシノゲン判定による胃粘膜の萎縮度を調べ、胃がんや胃潰瘍、慢性萎縮性胃炎などの胃疾患に罹るリスクを分類することで、必要な治療等につなげ、胃がんなどの予防・早期発見・早期治療を図る。

### (2) 対象

40歳以上の者

ただし、下記に該当するものは除く。

(勤務先等で検査を受ける機会のある者、過去に大口町が実施する同検査を受けたことがある者、ピロリ菌除菌治療を受けたことがある者、食道・胃・十二指腸に関する疾患で治療中または手術歴のある者、明らかな上部消化器症状があり、胃や十二指腸の疾患が強く疑われる者、プロトンポンプ阻害薬を服用中もしくは2か月以内に服用した者、腎不全及び腎機能障害の者)

### (3) 実施場所

大口町内委託医療機関

### (4) 実施期間

平成27年7月1日～10月31日

### (5) 内容

問診、血液検査(血清ペプシノゲン、血清ヘリコバクター・ピロリ抗体)

### (6) 受診者数

(単位：人)

受診者数	A群	B群	C1群	C2群
27	14	7	6	0

A群：健康な胃粘膜で、胃疾患の危険度は低い。

B群：消化性潰瘍など胃疾患の危険がある。(胃がんが発生することもある。)

C1群：胃がん、胃ポリープなど胃疾患の高危険群。

C2群：胃がん、胃ポリープなど胃疾患のより高危険群。

## 9 骨密度測定

### (1) 目的

骨粗しょう症は寝たきりの原因となる骨折の基礎疾患となるため、早期に骨量の減少者を発見し骨粗しょう症を予防する。

### (2) 対象

20歳以上の町民

### (3) 周知方法

広報おおぐち、広報無線、各事業時にチラシによる啓発

### (4) 日時

平成27年6月29日（月）・平成27年8月20日（木） 午前9時30分～午後3時30分

### (5) 内容

踵骨での超音波伝導法による骨密度測定

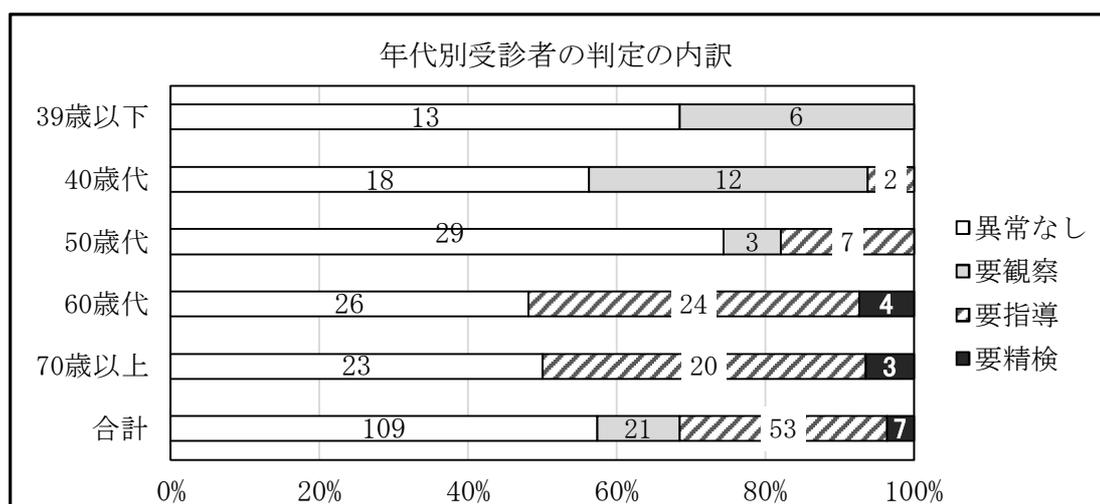
愛知県健康づくり振興事業団派遣スタッフによる結果説明

検査結果が要指導または要精検の初回受診者には保健師、管理栄養士による個別指導を実施

### (6) 実施結果

(単位：人)

	受診者	異常なし	要観察	要指導	要精検
39歳以下	19	13	6	0	0
40歳代	32	18	12	2	0
50歳代	39	29	3	7	0
60歳代	54	26	0	24	4
70歳以上	46	23	0	20	3
合計	190	109	21	53	7



骨密度は女性ホルモンエストロゲンに左右され、更年期以降の異常は増えている。妊娠出産の影響は証明されていないが遺伝要素もあるといわれる。40歳以下でも骨密度の低い者の割合が高い。チラシを用いて機会をとらえた啓発をしていく。

## 10 健康教育

健康教育は、住民の健康意識を高め、より良い生活習慣の定義を図ることにより、健康増進・疾病予防・寝たきり予防などに役立てることを目的としている。

健康おおぐち 21 計画の推進を基に、健康づくりをしやすいまちづくりを目指すとともに健康おおぐち 21 計画の目標に沿った具体的な取り組みを推進した。

生活習慣病予防については、健康おおぐち 21 第二次計画及び国保データヘルス計画から、糖尿病の重症化予防に着目した講座を実施した。また、ポールウォーキングの啓発については、ポールウォーキングリーダーと連携しながら各地区での自主グループを支援するとともに、今年度は老人クラブの協力を得て介護予防に着目した講座を実施した。

その他、健康推進員地区活動時や各団体からの要請時のテーマとして取り上げ、血圧・脂質異常・歯周病等についてさまざまな場で周知・啓発を行い、生活習慣の見直し・改善の機会となるよう事業展開を行った。

### (1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防対策「血糖値が気になる方への健康講座」

#### ア 目的

町で実施する健康診査等の結果から特に血糖コントロール不良者や糖尿病予備群の者が多いことから、生活習慣を改善することによって糖尿病の発症予防や重症化を予防できるよう正しい知識を深め、食事や運動習慣を改善する具体的な行動方法を理解する。

#### イ 対象者

町内にお住まいの方で血糖値の気になる方及びその家族

(特定健康診査・国保人間ドック及びわかば健康診査で HbA1c5.6%以上の方へ勧奨を行った)

#### ウ 内容及び参加人数

	日時	テーマ	講師	参加人数
第1回	12月4日(金) 13:30~15:30	「糖尿病の基礎知識」 ～糖尿病ってどんな病気?! 知らないと怖い糖尿病のホントの話～	医師 保健師	60人
第2回	12月9日(水) (個別時間案内)	体力測定 ～体力は1年で1%落ちる! 今の体力を知ろう～	トレーニングセンター トレーナー他	53人
第3回	12月16日(水) 9:30~11:30	運動の話と実技 ～からだスッキリの 3つのコツ、教えます～	健康運動指導士	41人
第4回	1月15日(金) 9:30~11:30	食事の話 ～上手に食べれば怖くない! 食事を楽しむ技～	管理栄養士 保健師	56人
第5回	2月19日(金) 13:30~15:30	「糖尿病と歯周病の意外な関係」 「お口の健康」 ～セルフケアのコツ～	歯科医師 歯科衛生士	33人

エ 参加状況

5回講座のうち、医師の講話のみ参加した人もいたが、多くは医師の講話・運動・栄養と生活習慣にかかわる部分まで継続した参加があった。歯周病に関する講座は全参加者の2/3程度を減少し、歯に対する意識が低いことが伺えた。

事後アンケートからは、内容が「理解できた」と答えた人が多かったが、「今後の生活習慣の改善に向けて」の取り組みについては、具体的に記載する人は半数程度にとどまり、実践に向けてのアプローチを強化する必要がある。

(2) 健康教育のまとめ

(単位：回・人)

区分 事業	事業名	対象	実施回数	参加延人数
年間計画による事業	糖尿病重症化対策講座	特定健診等でHbA1c5.6%以上の町民 他	5	245
	ポールウォーキング教室	町民	5	120
	ポールウォーキングリーダー定例会	町民	6	63
	町外ポールウォーキング	町民	1	48
	ポールウォーキング自主グループ支援	町民	41	636
	歩く健康のつどい	町民	22	254
	健康推進員研修会	健康推進員	9	353
	健康推進員代表者会	代表健康推進員	5	55
	健康まつり	町民	1	1,925
	体力測定講座	町民	6	68
	元気づくりサポーター研修会	町民	1	9
小 計			102	3,776

区分 事業	事業名	対象	実施回数	参加延人数
要請による事業	健康推進員活動（各地区）	区民 (秋田、中小口、下小口、余野)	4	85
	ハッピースマッピー健康教室	健康クラブ笑顔21及び町民	2	39
	さくら大学	会員	1	55
	老人クラブ女性部	会員	1	30
	秋田区 老人クラブ	会員	2	122
	大屋敷区 高齢者ふれあいのつどい	会員	1	77
	子育て講演会	保育園児の親	4	270

区分 事業	事業名	対象	実施回数	参加延人数
要請による事業	北小学校 就学児健診	生徒の親等	1	107
	商工会	会員等	2	230
	親子ふれあい広場	参加者等	3	30
	憩いの四季「憩い処さくら屋」	会員	1	9
	小 計		22	1,054
健康教育合計			124	4,830

## 1 1 健康相談

健康相談事業は、住民が抱えている健康問題に対して生活習慣改善を中心に実施し、より住民の健康的な生活を支援できるよう努めている。

### (1) 目的

健康相談（電話・面接）を通して日常生活の不安や悩みを話し、生活を見直すことで健康の保持増進につなげる。

### (2) 対象

町民

### (3) 従事者

保健師 管理栄養士 看護師 歯科衛生士

### (4) 実施状況

毎月第2・4金曜日（実施回数 24回）及び随時

内 容		電 話	面 接
成人保健	重点健康相談		
	高血圧	19件	0件
	脂質異常	1件	0件
	糖尿病	4件	22件
	歯周疾患	0件	81件
	骨粗しょう症	0件	31件
	女性の健康	0件	0件
他 病態別	6件	21件	
総合健康相談		0件	210件
精神保健		0件	1件

## 1 2 介護予防事業

介護されることを予防するまたは介護が必要な状態になることを遅らせるために、効果のある教室を実施する。

### (1) ひだまりの会（中小口）・しなやかお達者の会（余野・豊田）

#### ア 目的

教室に参加することにより、筋力低下や転倒を防ぎ、身体機能全般の維持・向上を図る。また、参加者同士の交流等により心身の活性化を図る。

#### イ 対象者

高齢者

#### ウ 日時及び場所

毎月 第2・4金曜日 午前10時～11時30分 中小口地区コミュニティーセンター  
 毎月 第2・4火曜日 午前10時～11時30分 余野学習等共同利用施設  
 毎月 第1・3火曜日 午前10時～11時30分 豊田学習等共同利用施設

#### エ 従事者

余 野：健康運動指導士(年2回)・ボランティア・健康推進員  
 地域包括支援センター職員・町職員  
 中小口：健康運動指導士(年2回)・ボランティア・町職員  
 豊 田：健康運動指導士(年2回)・ボランティア・健康推進員  
 地域包括支援センター職員・町職員

#### オ 実施状況

地 区	回数	参加実人数		参加延人数	平均参加者数
		対象者 (再掲 新規参加者)	ボランティア		
余 野	24回	18人 (2人)	2人	233人	9.7人
豊 田	24回	12人 (9人)	5人	143人	6.0人
中小口	22回	17人 (1人)	6人	156人	7.1人

余 野：筋トレ中心に頭の体操やレクリエーションも加え、実施している。

豊 田：平成20年度から健康推進員活動の一環として健康推進員が参加している。

中小口：ボランティアが中心となり、1年間の活動計画づくりから実施までを主体的に行っている。七夕飾り、しめ縄作りなどの季節の行事やレクリエーションを交え、仲間同士楽しく交流している。

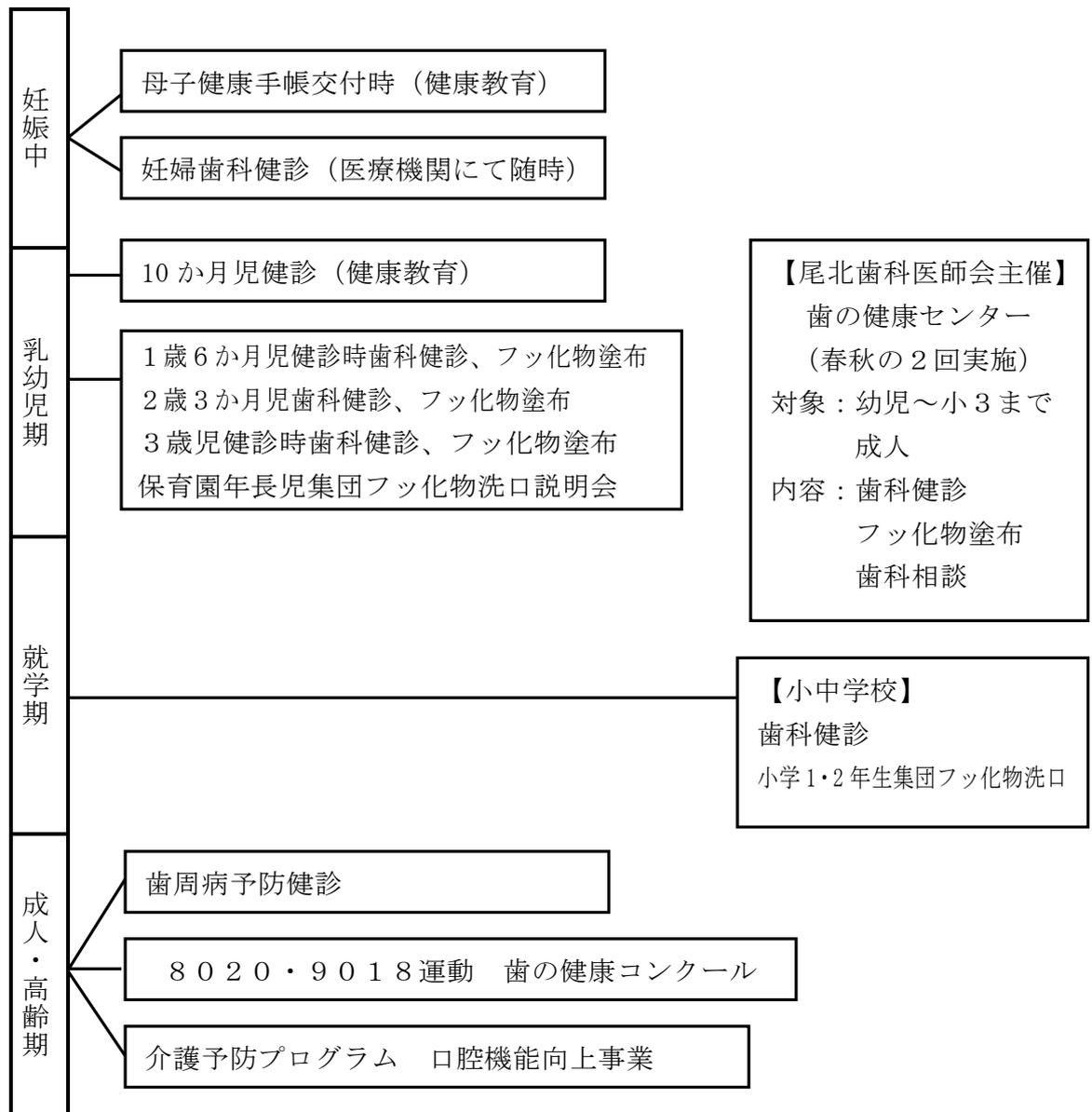
## 4 齒科保健活動

# 1 歯科保健事業の取り組み

食事を十分に咀嚼し健康で豊かな生活を維持するには、妊娠期からの歯科保健への取り組みが重要である。

健康おおぐち 21 第二次計画の歯の目標である「いつまでも自分の歯でおいしく食べよう」「いつまでも明るく歯を見せて笑おう」に向け、健康と歯のつながりを意識した取り組みを継続している。また、高齢者への健康教育を充実させ、歯周病予防と介護予防の啓発をした。就学期では、26 度から小学校 1 年生児へのフッ物洗口を実施し、今年度は 2 年生も開始された。ライフステージを通して一貫した歯科保健事業を推進している。

## 歯科保健 管理体系



\* 必要、要望に応じ随時健康教育実施

## 2 幼児期歯科健康診査

### (1) 目的

歯牙が形成される乳幼児期に、歯の大切さと正しい衛生習慣を身につけるとともに、  
歯科健診・フッ化物塗布を行い、むし歯予防に努める。

### (2) 内容

歯科健診、フッ化物塗布、個別指導 \*2歳3か月児歯科健診では染め出し、健康  
教育（ブラッシング法、むし歯予防の話）も実施。

### (3) 結果

#### ア 1歳6か月児健診時歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者数	受診児数	受診結果					むし歯罹患状況			フッ化物塗布者数	その他の要指導	
			O1	O2	A	B	C	むし歯有病者数(率)	むし歯本数			歯列咬合	その他
									総数	一人あたり			
23	208	203	68	131	4	0	0	4(1.9)	8	0.04	198	17	63
24	248	242	88	153	1	0	0	1(0.4)	4	0.02	233	21	42
25	202	194	61	131	1	1	0	2(1.0)	10	0.05	185	25	22
26	222	222	79	142	1	0	0	1(0.5)	4	0.02	213	25	25
27	230	224	93	129	2	0	0	2(0.9)	5	0.02	215	25	30

#### イ 2歳3か月児歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者数	受診児数	受診結果					むし歯罹患状況			フッ化物塗布者数	その他の要指導			
			O1	O2	A	B	C	むし歯有病者数(率)	むし歯本数			指しやぶり	歯列咬合	その他	
									総数	一人あたり					処置歯数
23	219	199	57	131	8	2	1	11(5.5)	25	0.1	14	195	32	32	40
24	231	216	57	150	8	1	0	9(4.1)	32	0.1	1	208	40	21	38
25	231	211	51	150	9	1	0	10(4.7)	25	0.1	0	200	37	28	39
26	211	198	51	142	2	3	0	5(2.5)	21	0.1	4	189	41	32	37
27	215	201	62	135	2	1	1	4(2.0)	10	0.5	1	179	31	38	24

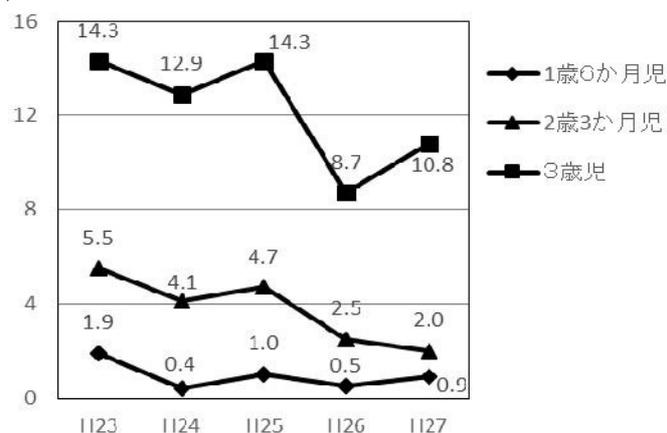
#### ウ 3歳児健診時歯科健診

(単位：人・％・本)

種別 年度	対象者数	受診児数	受診結果					むし歯罹患状況			フッ化物塗布者数	その他の要指導			
			O	A	B	C1	C2	むし歯有病者数(率)	むし歯本数			指しやぶり	歯列咬合	その他	
									総数	一人あたり					処置歯数
23	248	251	215	27	7	1	1	36(14.3)	100	0.4	12	240	33	38	13
24	213	208	181	17	10	0	0	27(12.9)	95	0.5	7	202	6	27	34
25	239	237	203	27	7	0	0	34(14.3)	104	0.4	4	220	8	36	38
26	211	207	189	15	3	0	0	18(8.7)	44	0.2	4	189	7	36	42
27	241	232	207	15	7	0	3	25(10.8)	106	0.5	17	218	11	35	37

## エ 健診別むし歯保有率の推移

(%)



### ＜う蝕罹患型＞

- 1：う蝕がなく、かつ口の中の状態がよいもの
- 2：今う蝕はないが、将来う蝕になりそうなもの
- A：上顎前歯部のみ、または臼歯部にう蝕のあるもの
- B：上顎前歯部及び臼歯部にう蝕のあるもの
- C1：下顎前歯部にう蝕のあるもの
- C2：下顎前歯部を含み、他部位にう蝕のあるもの

## 3 フッ化物洗口説明会

保育園では年長児にフッ化物洗口を実施している。本年度はその前学年である年中児の保護者に啓発用チラシを保育園に配布のみ実施とする。

## 4 歯の健康センター

- (1) 目的 歯科保健に対する意識の向上及び低年齢児のむし歯予防、並びに成人のむし歯や歯周病による歯の喪失の予防に努める。
- (2) 対象 就学前の幼児から小学3年生までの児童と成人(成人は定員25人)
- (3) 日時 平成27年6月7日(日) 午前9時30分～11時30分  
平成27年11月8日(日) 午前9時30分～11時30分
- (4) 内容 歯科健診 フッ化物塗布 一般歯科相談 歯科健康教育
- (5) 受診状況 (単位：回・人)

実施年度	実施回数	受診者総数	受診者内訳	
			幼児	成人
25	2	205	163	42
26	2	255	202	53
27	2	264	213	51

## 5 妊婦歯科健康診査

### (1) 目的

妊娠中は生活の変化やホルモンの影響などでむし歯や歯周病が起きやすくなるため、妊婦のむし歯や歯周病の予防と早期発見に努める。

また、乳歯の質を決める妊娠期に歯科健診を受けることで、生まれてくる子どものむし歯予防の啓発とする。

### (2) 受診者の状況

#### ア 受診者数 (単位：人)

区分 \ 年度	23	24	25	26	27
初産婦	43	50	43	44	48
経産婦	42	34	30	47	37
計	85	84	73	91	85

#### イ 健診結果 (単位：人・本)

区分 \ 年度	受診者数 (人)	むし歯のある者 (人)	歯周疾患のある者 (人)	平均処置歯数 (本)	平均現在歯数 (本)	平均健全歯数 (本)
27	85	39	18	8.0	28.5	19.2

※歯周コード3以上を歯周疾患と判定する。

#### ウ 歯周コード (単位：人)

0	1	2	3以上
11	7	49	18

#### 歯周コード判定基準

- 0：健全な歯肉の状態
- 1：歯肉から出血する状態
- 2：歯石沈着あり
- 3：歯周ポケット4ミリ以上6ミリ未満
- 4：歯周ポケット6ミリ以上

#### エ 判定結果 (単位：人)

異常なし	要指導	要精検
12	18	55

## 6 歯周病予防健診

### (1) 目的

定期的な歯科健診により歯周病の早期発見と保健指導で歯の喪失を防ぐ。

### (2) 対象

町内在住で平成28年3月31日時点の年齢が40歳以上の者  
平成26年度特定健診においてHbA1c6.5%以上の者

### (3) 実施期間・場所

平成27年4月1日～平成28年3月31日 町内歯科医療機関

### (4) 実施内容

歯牙・歯周診査、保健指導

### (5) 受診状況

(単位：人)

区分 年度	受診者数			年齢別					
	総数	男	女	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
25	100	26	74	33	22	26	19	0	0
26	203	85	118	42	38	58	60	5	0
27	244	84	160	54	55	64	59	11	1

### (6) 診査結果

#### ア 歯牙・歯周診査結果

(単位：人・本)

受診者数 (人)	未処置のう歯の ある者 (人)	歯周疾患の ある者(人)	平均処置歯数 (本)	欠損補綴歯本数 (本)	平均健全歯数 (本)
244	101	47	14.1	134	11.0

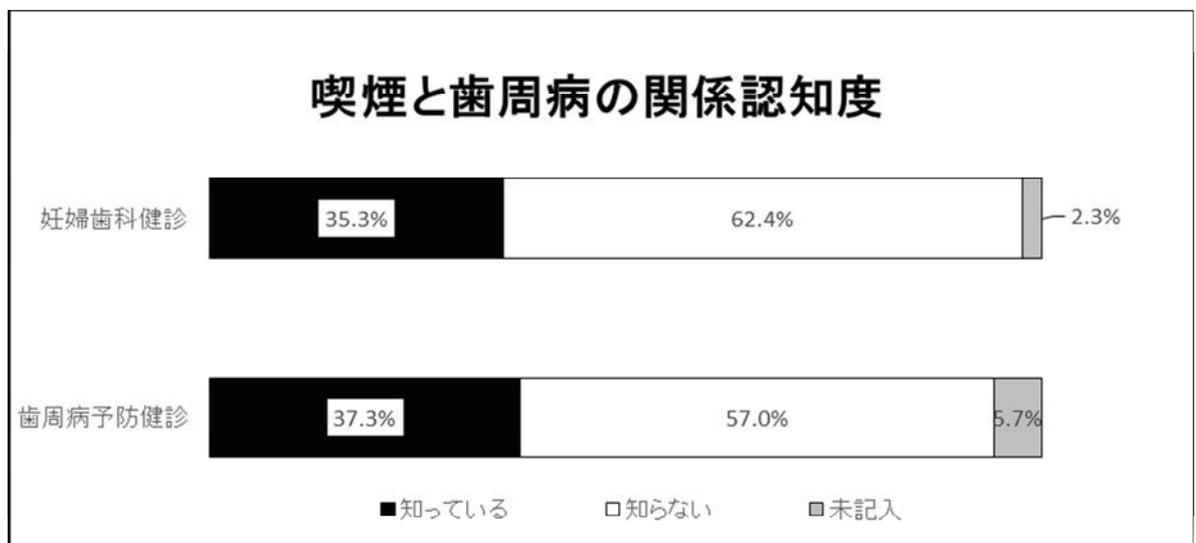
\*欠損補綴歯…失われた歯を人工歯で補ったもの

#### イ 総合判定

(単位：人)

受診者数	異常なし	要指導	要精検
244	32	33	179

### (7) アンケート結果



(8) 歯の健康づくり得点

町民自身が歯を失わないための生活習慣ができているかセルフチェックをし、点数に従ったアドバイスを参考に生活習慣の改善を促すことを目的として、歯周病予防健診の受診者を始め、フッ化物洗口説明会や健康まつり及び健康教育の参加者に歯の健康づくり得点チェックシートを配布し活用した。

(16点以上は歯を失うリスクが低いと判定される)

ア 実施人数 (単位：人)

	男	女		計
		一般	妊婦	
40歳未満	5	83	83	171
40歳以上	103	234	2	339
合計	108	317	85	510

イ 歯の健康づくり得点16点以上の者

	男	女		計
		一般	妊婦	
40歳未満	1	46	23	70
40歳以上	49	107	0	156
合計	50 (46.2%)	153 (48.2%)	23 (27.1%)	226 (44.3%)

(単位：人)

はちまるにいまる きゅうまるいちほち

7 8020・9018運動 歯の健康コンクール

(1) 目的

生涯を通じた歯の健康づくりの一環として、80歳以上で20本以上、90歳以上で18本以上の歯がある者を表彰し歯科保健への認識を高める。

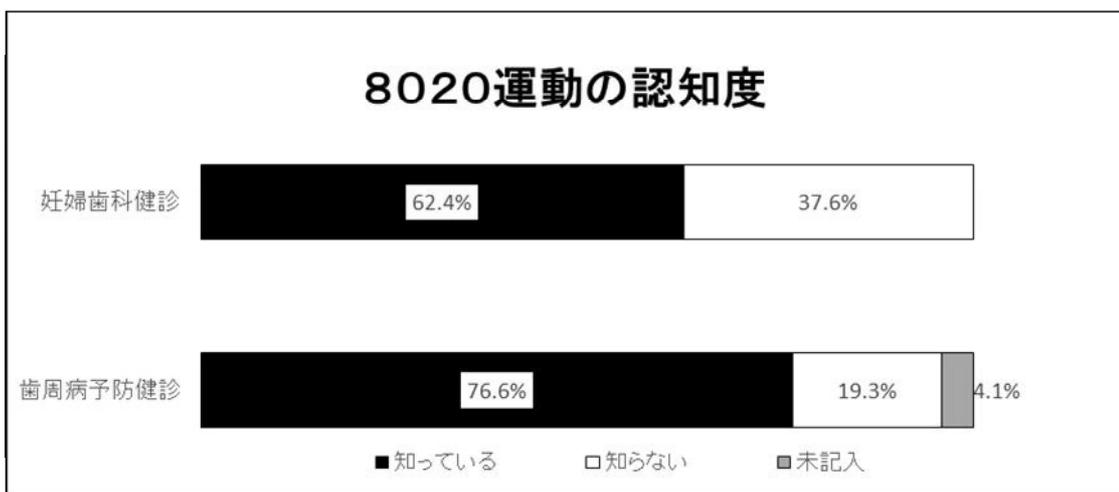
(2) 表彰日時

平成27年11月8日(日)

(3) 表彰者

20人 内訳：8020表彰20人(男11人、女9人) 9018表彰0人

(4) アンケート結果



## 8 口腔機能向上事業

### (1) 目的

口腔機能が低下している恐れがあり、要介護認定を受けていない高齢者を対象として、口腔機能の維持・向上を通じて要介護状態に陥らないよう支援する。

### (2) 内容

事業名	口腔機能向上教室（おいしく食べられる健口教室）
対象者	元気アップ高齢者
実施時期	平成27年4月～平成28年3月
実施回数	1クール月1回 6か月間
実施場所	大口ケアセンター あかり
従事者	介護担当職員 歯科衛生士
参加人数	50名(延べ人数182名)
募集方法	生活機能チェックリストを送付し、口腔機能の項目に該当した者を地域包括支援センターから勧誘
実施内容	1回目 事前アセスメント 2回目 染め出しによる口腔清掃指導、健口体操、唾液腺マッサージ 3回目 講話（歯周病とむし歯、唾液、飲み込み、口腔機能）、健口体操、唾液腺マッサージ 4回目 お口周りの筋力アップゲーム、健口体操、唾液腺マッサージ 5回目 脳トレーニングと早口言葉、健口体操、唾液腺マッサージ 6回目 事後アセスメント

### (3) まとめ

前年度に引き続き、会場を大口ケアセンターあかりとし、参加者の送迎を同事業所に委託した。参加者から「送迎があるため気軽に教室に参加できた。」との声も聞かれた。

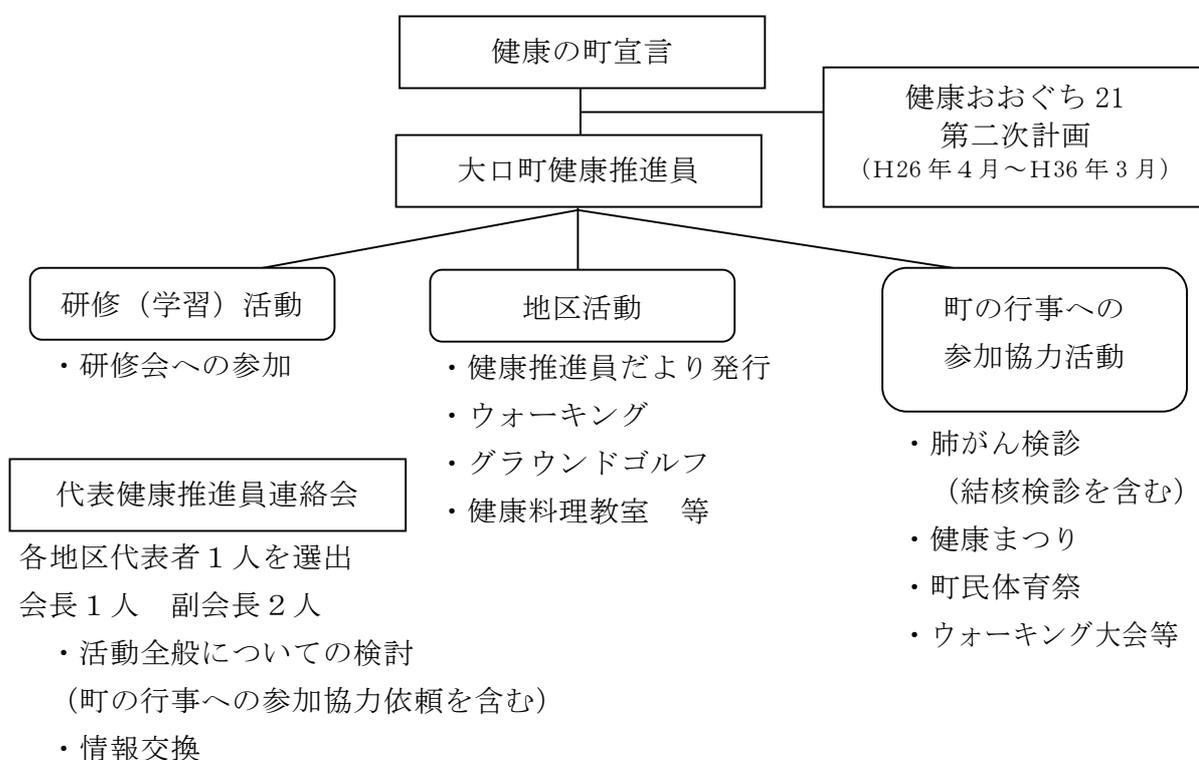
教室では、ゲームなどで楽しくお口周りの筋力アップに取り組むことができ、ほとんどの参加者が事前アセスメントよりも結果が向上した。

## 5 健康推進事業

# 1 健康推進員活動

平成5年12月議会において「大口町健康の町宣言」が議決された。平成7年6月には、健康の町宣言事業の一環として、健康で幸せな生活を送るために、地区住民の健康意識を高め、地区活動を積極的に推進することを目的として、健康推進員制度が設置された。

平成25年4月に大口町健康推進員設置要綱の任期を3年から2年に変更した。今年度は第8期1年目。健康推進員研修会への参加と今までの地区活動の継続や区の活動に参加することが中心となった。大口町健康づくり計画「健康おおぐち21 第二次計画」は推進2年目となり、計画の周知と生活習慣の見直しを促す健康教育を健康推進員の研修会に組み込み啓発を図った。



(1) 健康推進員全体活動

(単位：人)

実施月日	内 容
10月31日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいまつり 2015 にてウォーキング大会開催 (参加者 378 人)</li> <li>・健康まつりへの参加</li> <li>「健康おおぐち21 第二次計画の推進」各ブースへの協力</li> </ul>

(2) 健康推進員研修会実施状況 (計9回実施)

今年度は任期1年目であるため、健康推進員本人への健康づくりと「健康おおぐち21第二次計画」の啓発を目的に研修会を計画した。(単位:人)

実施月日	内 容	講 師	参加人数
平成27年 4月20日(月)	委嘱状交付式 保健センターの活動について 健康推進員の活動について	健康生きがい課職員	45
5月15日(金)	講義と運動実技 「健康おおぐち21第二次計画の推進に向けて」 ・健康づくりノートの活用と健診受診のススメ ・元気体操のポイント	健康生きがい課職員	43
6月10日(金)	講義「ボランティア活動のすすめ」	ハートフルケアセミナー	40
7月6日(金)	講義「ボランティア活動にいかす コミュニケーションの技術」	ハートフルケアセミナー	38
8月11日(火)	運動講義及び実技 「元気体操ワンポイントアドバイス」 「ポールウォーキングを体験しよう」	ポールウォーキング 協会マスターコーチ (健康運動指導士)	41
9月24日(木)	運動実技 「2万人体力測定を受けてみよう」	NPO法人ウィル大石 スポーツクラブトレーナー	42
10月14日(水)	運動実技 「体力測定結果を日常生活に活かそう」 ・体力測定結果から分かること	NPO法人ウィル大石 スポーツクラブトレーナー	36
12月1日(土)	講義及び実技 「健康寿命をのばす口腔ケア」 ・お口の体操	ハートフルケアセミナー	32
平成28年 1月29日(木)	認知症サポーター養成講座 「認知症を学び地域で支えよう」	大口町地域包括 支援センター職員	36

(3) 代表健康推進員連絡会実施状況 (計5回実施)

実施月日	主 な 内 容
平成27年 5月7日(木)	平成27年度役員選出と運営について 平成27年度健康推進員活動交付金について 地区活動について情報交換 結核肺がん検診への協力について 年間研修会等について
6月18日(木)	平成27年度代表健康推進員連絡会について 結核肺がん検診の反省会 地区活動について情報交換 代表者会の日程について
8月4日(火)	ウォーキング大会について 健康まつりへの協力について 地区活動について情報交換
11月17日(木)	ウォーキング大会の反省 健康まつりの反省 地区活動の中間報告について
平成28年 3月25日(木)	平成27年度健康推進員地区活動の実績報告について 平成28年度地区代表者の選出について 平成28年度健康推進員地区活動計画について 平成28年度健康推進員研修会計画について

(4) 地区自主活動の状況

地 区	活 動 状 況
秋 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田グラウンドゴルフ練習（毎週月曜日） 毎回 50 人</li> <li>・太極拳教室（毎月第2、第4金曜日） 毎回 20 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 45 人</li> <li>・早朝太極拳とポールウォーキング大会（全2回） 各 24 人</li> <li>・秋田区町民盆踊り大会（綿菓子作り、抽選会手伝い）</li> <li>・秋田秋季グラウンドゴルフ大会 70 人</li> <li>・健康まつりウォーキング大会 38 人</li> <li>・秋田グラウンドゴルフ春季大会 72 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（年間随時）</li> </ul>
豊 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進だより発行（年2回）</li> <li>・しなやかお達者の会参加（毎月2回・年間23回）</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 46 人</li> <li>・早朝ラジオ体操（7月下旬4日間） 約 100 人</li> <li>・避難訓練ウォーキング 35 人</li> <li>・町民体育祭への参加</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 24 人</li> <li>・グリーンパパ餅つき大会への協力と参加 約 120 人</li> <li>・豊田区自主防災訓練への参加と協力</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>
大屋敷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新田地区「いっぷく茶屋」活動支援（毎月第1土曜日）</li> <li>・大屋敷区 サロン活動支援（毎月第2・4水曜日）</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 42 人</li> <li>・ゴキブリ団子作り 25 人</li> <li>・地区盆踊り大会練習（5回） 延べ 150 人</li> <li>・地区盆踊り大会支援（かき氷担当） 450 人</li> <li>・町民体育祭参加</li> <li>・健康まつり・ウォーキング大会 43 人</li> <li>・防災訓練、芋煮会準備 20 人</li> <li>・防災訓練、芋煮会 250 人</li> <li>・花もちづくり、元気体操啓発 25 人</li> <li>・グラウンドゴルフ大会 25 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>
外 坪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親善グラウンドゴルフ大会 30 人</li> <li>・グラウンドゴルフ練習（毎月2回） 30～40 人</li> <li>・老人クラブ定例会の食事支援とグラウンドゴルフ 40 人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 43 人</li> <li>・大口町地区別グラウンドゴルフ大会への参加 約 25 人</li> <li>・盆踊りの練習と準備（4回） 延べ 120 人</li> <li>・盆踊り来賓受付等</li> <li>・区バス・ウォーキング下見 5 人</li> <li>・市民体育祭協力</li> <li>・健康まつりウォーキング大会（参加者引率と係活動） 25 人</li> <li>・バス・ウォーキング（彦根方面） 45 人</li> <li>・地区ミニ・グラウンドゴルフ大会 28 人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>

地 区	活 動 状 況
河 北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイトウォーキング（月2回） 毎回3人</li> <li>・北地域まちづくりへの参加 1人</li> <li>・陽だまりの会（毎月第2水曜日） 毎回3人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 39人</li> <li>・救命救急法 32人</li> <li>・地区盆踊り大会への参加 4人</li> <li>・ノス（N O S S）筋力低下予防の踊り 23人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 54人</li> <li>・高齢者ふれあい事業への参加（二ツ屋） 50人</li> <li>・歯の健康教室 23人</li> <li>・練功一八段法「前段」体験（4回） 延べ79人</li> <li>・笑いヨガ&amp;ヒーリングハーブ 24人</li> <li>・区への活動報告会</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>
余 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム体操（月2回） 各回10～15人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 推進員</li> <li>・グラウンドゴルフ大会 3人</li> <li>・大口町トレーニングセンター体験会 9人</li> <li>・余野夏祭り実行委員会への参加 推進員</li> <li>・余野区防災訓練 3人</li> <li>・国勢調査に協力 推進員（女性）</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 43人</li> <li>・中地域自治組織ポールウォーキング教室 推進員2人</li> <li>・名鉄ウォーキング大会（犬山） 20人</li> <li>・健康料理教室 14人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせのための定例会（月1回）</li> </ul>
上小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイトウォーキング（全10回） 延べ121人</li> <li>・ポールウォーキング（全7回） 延べ101人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 4人</li> <li>・ポケットパーク草取り（全2回） 15人</li> <li>・盆踊り練習（2回） 延べ73人</li> <li>・地区盆踊り支援 多数人</li> <li>・子ども会ラジオ体操支援（8/17～8/23） 多数人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 33人</li> <li>・上小口&amp;萩島地区の歩け歩け大会に参加 77人</li> <li>・犬山城下町ウォーキング 37人</li> <li>・活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>
中小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ練習（毎週月曜日） 毎回20～25人</li> <li>・健康体操（毎週火曜日） 毎回20人</li> <li>・地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 5人</li> <li>・グラウンドゴルフ大会 30人</li> <li>・保健師による健康講座 30人</li> <li>・健康まつり時ウォーキング大会 38人</li> <li>・明治村ウォーキング 34人</li> <li>・中小口グラウンドゴルフ大会 30人</li> </ul>

地 区	活 動 状 況
下小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナイトウォーキング（毎週金曜日）（5月～10月）</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 63人</li> <li>・ 健康野菜料理教室 17人</li> <li>・ 地区盆踊り大会手伝い 延べ 37人</li> <li>・ リズム健康体操教室 37人</li> <li>・ 町民体育祭参加 5人</li> <li>・ 太極拳体験教室 39人</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 38人</li> <li>・ 北地域避難防災訓練参加 6人</li> <li>・ 下小口地区ウォーキング大会 52人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ</li> </ul>
垣 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ 垣田グラウンドゴルフ大会 9人</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 21人</li> <li>・ 垣田グラウンドゴルフ打ち合わせ</li> <li>・ 犬山城下町街ウォーキング 12人</li> <li>・ 垣田グラウンドゴルフ大会 12人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ</li> </ul>
さつき ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気体操、ポールウォーキング（毎週水曜日） 延べ 560人</li> <li>・ あいさつ運動（毎月第1金曜日）</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ 竹パン作り見学</li> <li>・ 子ども会夏休みラジオ体操支援（7/22～7/24・8/24～28） 約 60人</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 34人</li> <li>・ 春のふれあいウォーキング 27人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>

## 2 健康おおぐち21 第二次計画の推進状況

大口町の健康づくり計画「健康おおぐち21 第二次計画」は、平成26年度から「健康づくり＝町づくり」「健康づくりの主役は住民」と捉えた「健康おおぐち21 第一次計画」の基本理念を継承し、「健康で笑顔の大口 みんな元気 ずっと元気!!～見直そう 生活習慣～」をめざす姿（大目標）に掲げて推進している。

今年度は計画全体の啓発の他、計画の基本目標1である「生活習慣の見直し」において、運動・生活活動分野のいちおし事業「体力測定を受けよう」を、若い世代への啓発を目標に掲げ、乳児のBCG予防接種に来所した保護者へ実施した。また、糖尿病予防の健康講座のプログラムにも体力測定を組み入れた。健診結果と合わせて自分の体力を知ること、「気づき」から運動習慣へと繋がるようはたらきかけを行った。

運動習慣をつけるための1つの方法として啓発しているポールウォーキングは、教室終了後に各地区等において、ポールウォーキングリーダーを中心に自主活動が継続されている。また、今年度は高齢者を対象にロコモティブシンドローム予防を目的とした講座も実施した。

計画の基本目標2である「生活習慣病の発症予防と重症化予防」としては、糖尿病に着目した健康講座の開催や、血圧・血糖・慢性腎臓病（CKD）の重症化予防のため、家庭訪問を実施した。

### (1) 健康おおぐち21 第二次計画の啓発

#### ア 乳幼児・保育園・小中学校及びの保護者向け

(21回 延1,117人)

日 時	内 容	対 象 者	人数
5/25・5/28 6/1・6/2	生活リズムと朝食とおやつ ・体力測定のすすめ	町内4保育園保護者 (子育て講座・父母の会総会時)	270人
6月～10月 (第3木曜日)	歯の健康ワンポイントレッスン	親子ふれあい広場参加者	18人
	生活習慣病予防		6人
	家族の食事の質と健診のすすめ		10人
9月10日(木)	元気体操	南小学校児童	300人
10月16日(金)	子どもと保護者の健康 ～生活リズムと朝ごはん～ 健康づくりノート発行	来年度北小学校に 就学予定の児童の保護者	107人
12月～2月 (12日間)	野菜から食べる	町内4保育園の園児 (年長・年中・年少)	406人

#### イ 健康推進員研修会(全体)

(4回 述べ158人)

日 時	内 容	人数
5月15日(金)	健康おおぐち21 第二次計画の推進に向けて ・健康づくりノートの活用と健診受診のススメ ・元気体操のポイント	43人
8月11日(火)	運動講義及び実技 元気体操とポールウォーキング	41人

日 時	内 容	人数
9月24日(木)	運動実技「2万人体力測定を受けてみよう」	42人
12月1日(火)	講義及び実技「健康寿命をのばす口腔ケア」	32人

ウ 成人・高齢者向け(教室)

(14回 延749人)

日 時	内 容	団体名	人数
5月(2回)	計画の概要と健康寿命について 大口町の医療費の現状 高血圧について	老人クラブからの依頼 (高齢者ふれあいの集い等) 大屋敷77人・秋田63人	140人
6月25日(木)	健康寿命と食生活	老人クラブ女性部	30人
7月14日(火)	健康寿命と血圧管理	中小口区健康推進員他	35人
7月24日(金)	健康寿命と食事	下小口区健康推進員他	15人
8月・11月 (2回)	健康寿命と食生活 (野菜たっぷり・減塩実習)	健康クラブ笑顔21 一般住民男性	39人
12月～2月	糖尿病予防の健康講座 ①糖尿病専門医の講義 ②体力測定 ③運動編 ④栄養編 ⑤歯科編 の5回コース	国保特定健診・人間ドック等 受診者のうち血糖値の高い 方(HbA1c5.6以上の方)	延245人
1月26日・27日	缶飲料等の含有糖質量 ・味覚チェック	商工会検診受診者	230人
2月26日(金)	健康寿命と食事(減塩実習)	余野健康推進員他	15人

エ 町民全体への周知…平成27年10月31日(土)健康まつり 参加者述べ1,925人

コーナー名	人数	コーナー名	人数
血管年齢チェック	172人	脳年齢チェック	86人
体組成測定	116人	ボイスクリニック	113人
どくたーストレス	96人	脳トレ(一期一会荘)	89人
足裏バランス測定	174人	がん予防展示・クイズ	72人
口腔内細菌チェック 歯みがき指導・歯科相談(歯科衛生士会)	64人	歯科クイズ・歯科相談 (歯科衛生士会)	17人
親子野菜クッキーづくり	75人	食育野菜クイズ	133人
いきいき100歳体操体験	45人	健康相談(保健師・管理栄養士)	54人
アルコール相談	37人	薬剤師相談(薬剤師会)	45人
ポールウォーキング体験	28人	介護相談(地域包括支援センター)	27人
癒しの抹茶コーナー(高齢者福祉協力員)	232人	体力測定(東海学園大学)	179人

コーナー名	人数	コーナー名	人数
ハンドマッサージ・エステ体験	12人	頭皮マッサージ	17人
整膚体験	28人	トレーニングセンター無料体験	14人

#### オ 広報「おおぐち」掲載

広く町民への啓発として広報誌に「みんなですすめる！健康おおぐち21第二次計画」のコーナーを設け、計画の概要や10年後に目指す町民像を周知することを目的に毎月掲載している。

掲載月	内 容
4月号	【運動・日常生活活動分野】年に1回は体力測定をしよう！
5月号	【たばこ・アルコール分野】喫煙しない！
6月号	【歯の健康分野】目指せ6024 8020!!
7月号	【生活習慣病の発症予防と重症化予防】年に1回はがん検診を受けよう！
8月号	【運動・日常生活活動分野】体力と健康の関係
9月号	【生活習慣病の発症予防と重症化予防】1年に一度の「ザ・健康診査」
10月号	【食生活分野】1口目に野菜から食べよう！
11月号	【生活習慣病の発症予防と重症化予防】糖尿病のホントの怖さ、ご存知ですか？
12月号	【生活習慣病の発症予防と重症化予防】「肝腎かなめ」の腎機能
1月号	【歯の健康分野】(8020 運動・歯の健康コンクール表彰者紹介)
2月号	【生活習慣病の発症予防と重症化予防】脂質異常って？
3月号	【こころ分野】上手に休養しよう～睡眠のポイント～

#### カ 大口町栄養改善事業「食育担当実務者連絡会議」

住民への栄養改善事業及び食育を円滑にかつ効果的に推進するため、各ライフステージを担当する実務者間の交流と連携を図り、それぞれの対象を通して町民の生涯を通した一貫性のある食育の取り組みを目指すことを目的に実施している。

##### (ア) 実施日時

平成27年12月18日(金)

##### (イ) 出席者

健康生きがい課 管理栄養士 1人

町保育所 管理栄養士 1人

町立小学校及び中学校の栄養教諭及び学校栄養職員(県職)2人

##### (ウ) 内 容

- ・健康おおぐち21第二次計画について
- ・各ライフステージにおける食育の取り組みについて
- ・今後の会議の開催について

##### (エ) 結 果

異動等により前年度からメンバーが変わったため、再度会議の目的を共有し情報交換することから始めた。会議の中で、子どもたちが成長する過程での問題点や家庭環境などについて情報交換し共有することで連携の必要性と今後の食育活動に還元する可能性が確認できた。今後も町全体で食育を発信するために、継続して開催する。また、来年度の給食をもとに、保育園と小中学校および地域において共通した話題での食育活動を実施することを計画した。

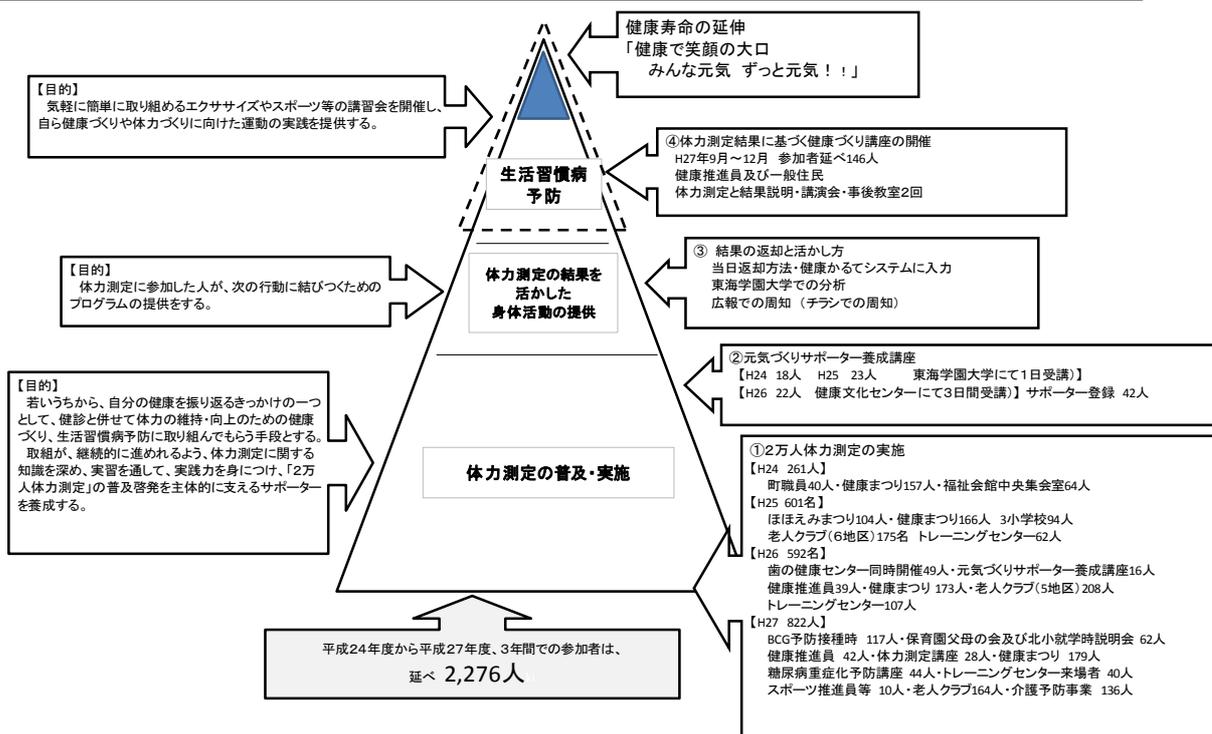
(2) 2万人体力測定  
実施者数：822人

実施日	対象者	参加人数	実施主体
5月～6月	町内4保育園在園時の父母	43人	健康生きがい課
9月24日(木)	第8期健康推進員	42人	健康生きがい課
10月16日(金)	北小就学前健診時保護者	19人	健康生きがい課
10月21日(水)	体力測定講座	28人	ウイル大口スポーツクラブ
10月31日(土)	健康まつり来場者	179人	東海学園大学に委託
11月8日(土)	スポーツ推進員主催講座	10人	生涯学習課
毎月第2金曜日	BCG予防接種時	117人	トレーニングセンターに委託 (町外15人含む)
12月9日(水)	糖尿病予防の健康講座参加者	44人	
毎月第2水曜日	トレーニングセンター来場者	40人	ウイル大口スポーツクラブに委託 計164人
5月22日	さつきヶ丘老人クラブ	25人	
5月28日	余野老人クラブ	21人	
6月4日	下小口老人クラブ	30人	
6月19日	秋田老人クラブ	47人	
10月19日	豊田老人クラブ	41人	
9/4・12/4 9/30・12/16 1/13・	いきいき100歳体操参加者 豊田区 さつきヶ丘区 一期一会荘	24人 71人 41人	ウイル大口スポーツクラブに委託 計136人

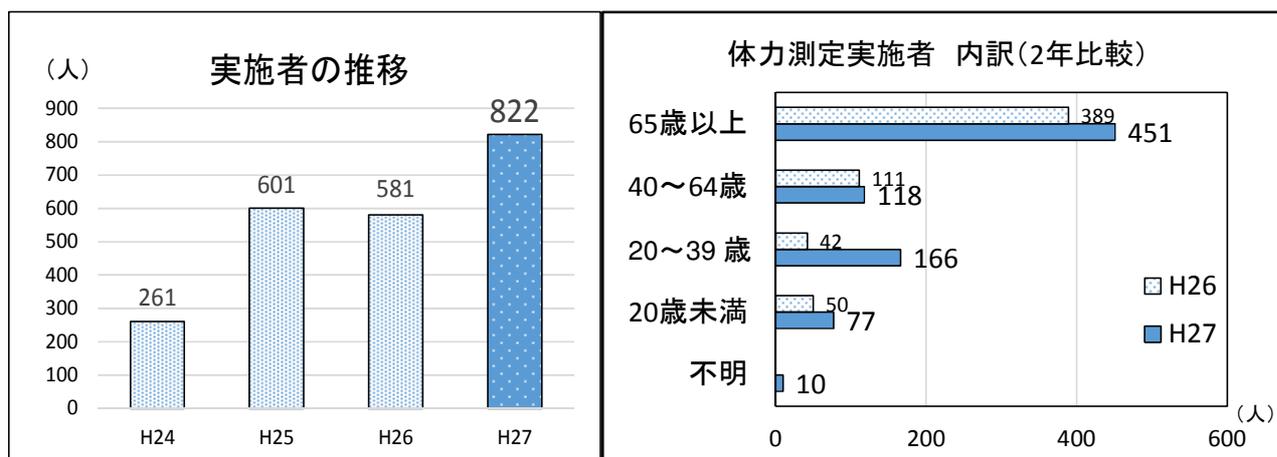
体力測定を活用した健康づくり イメージ図

**【事業の概要】**  
「2万人体力測定」は、「10年後も元気でいよう！」を合言葉に、平成24年度から取り組んでいる「おおぐち2万人元気計画」に基づき実施している健康づくり事業の一つである。

**【事業の目的】**  
自分の体力や筋力、活動量を知ること、現在の健康状況や生活習慣を振り返るきっかけとし、自分に合った運動習慣を身につけ、また、日常生活の中で意識して動くことにより、早い段階からの生活習慣病予防を啓発することを目的としている。



< 2 万人体力測定実施者の傾向 >



今年度の重点目標とした若い世代への啓発としては当課で行うBCG予防接種時の他、保育園における子育て講座や小学校の就学時健診時といった他課の事業と連携し実施した。結果判定の評価が低いことに驚く声が多くあり、子育て中であっても自分の体に関心を持ってもらう機会となった。

また、介護予防のための「いきいき100歳体操」や「体力測定講座」では、講座の前後評価指標として活用し、いずれも約3か月間の筋力トレーニング等の効果が表れた結果となった。「2万人体力測定」が他の講座等のプログラムの一つとして行うことで、より多くの方が「自分の体の気づき」ができ、教室の効果測定の一つとしても有効であった。

(3) 「体力測定講座」

「健康おおぐち21 第二次計画」運動・生活活動分野の「いちおし事業」としても実施してきた「2万人体力測定」であるが、測定結果の説明が不十分であり結果が受診者の次の行動につながりにくい課題があった。

今年度は体力測定の事後指導を強化し、結果をいかした運動習慣へつながるよう企画し、体力測定とその後の結果説明及び体力測定講座をNPO法人ウィル大ロススポーツクラブと協働で実施した。この講座は愛知県国民健康保険団体連合会の健康増進補助事業を受けて実施した。

ア 目的

自分の体力や筋力や活動量を知ること、現在の健康状況や生活習慣を振り返るきっかけとして自分に合った運動習慣を身につける。また、日常生活の中で意識して動くことにより、早い段階からの生活習慣病予防を啓発する。

イ 対象

健康推進員及び20歳以上の町民

ウ 実施期間及び場所

平成27年9月24日～12月9日（全6回）

健康文化センター 多目的室及び4階ほほえみホール

エ 従事者 NPO法人ウィル大ロススポーツクラブ トレーナー

講師(東海学園大学 准教授・至学館大学 管理栄養士)  
 元気づくりサポーター・健康生きがい課職員

オ 内容

①体力測定及び結果説明会

月日	内容	参加人数
9月9日(水)	体力測定(事前評価)	健康推進員 42人
10月14日(水)	体力測定結果説明 ・健康づくりノートの活用	健康推進員 36人
10月21日(水)	体力測定(事前評価)と結果説明 ・健康づくりノートの活用	一般 17人

②体力づくり講座

月日	内容	参加人数
11月11日(水)	健康づくりの講演会 東海学園大学 准教授 島 典広氏 ・運動プログラムの紹介 ・個別相談	12人
11月18日(水)	体力づくり講座① ・家庭でできる簡単運動	8人
11月25日(水)	体力づくり講座② ・道具を使った筋力トレーニング ・ストレッチポール	11人
12月2日(水)	体力づくり講座③ 「食事でロコモ予防！」 至学館大学 管理栄養士 神庭愛美氏 ・ポールウォーキングといきいき100歳体操	9人
12月9日(水)	体力測定(事後評価)と結果説明	11人

カ 参加状況

実人数 59人(延人数 146人)

「2万人体力測定」を本講座の事前評価および事後評価に用いた。3か月の講座の間に週1回の運動講座を受け、さらに自宅での下半身中心のトレーニングを行うことで、体力測定のおよそすべての項目で向上が見られた。短い期間であったが、多くの種類の運動方法を取り入れ、チューブやポールウォーキング、ストレッチポールなどの道具を使うことで参加者は楽しんで運動に興味を持てた様子であった。参加者からは「運動を続けていきたい」「町内のスポーツ活動や各講座の情報を把握したい」といった意見があり、町内の運動教室等をまとめたパンフレットを作製した。

#### (4) ポールウォーキング

##### ア ポール体操とポールウォーキング教室

###### (ア) 目的

メタボリックシンドロームとロコモティブシンドローム予防を目的として二本の専用ポールを使用し、手軽に効果的にできるウォーキングの普及を図る。

###### (イ) 対象

ポールウォーキング初心者で、概ね 65 歳以上の一般住民

###### (ウ) 実施期間及び場所

平成 27 年 9 月 28 日 (月) ～11 月 30 日 (月) (全 5 回)

健康文化センター1 階 多目的室

###### (エ) 従事者

講師(健康運動指導士)・保健師

###### (オ) 内容

ポールウォーキング講義と実技(歩行測定、ポールエクササイズ)

###### (カ) 参加状況

実人数 43 人(うちポールウォーキングリーダー11 人)

延べ人数 120 人

教室の前後に実施した立ち上がりテストでは悪化する人が多く、季節の変化による影響が考えられた。2 ステップテストでは、ロコモ度の判定には変化がないが、歩幅が広がった人が多く(72.7%)、歩行の安定性が向上したと考えられる。ロコモ 25 のアンケートでは、ロコモ度の判定には変化がないが、点数が改善した人は 8 人(57.1%)であった。

教室終了時のアンケートでは、ポールウォーキングの方法の理解(88.2%)、ポールウォーキングができる(82.4%)、家庭で体操等の復習をする(68.8%)であった。また、継続性については、個人的に継続すると答えた人は 12 人、グループがあれば続けたいと答えた人は 5 人であった。教室終了のアンケートでは、生活や体調に改善の変化を感じた人が多かった。

#### (5) ポールウォーキングリーダー定例会(さくらPW定例会)

##### ア 目的

一人一人が健康で活力ある地域づくり、町づくりをめざして、ポールウォーキングリーダーとともに町民の方々へのさらなる普及を図るため、事業の計画やを意見交換を行う。

##### イ 対象

ポールウォーキングリーダー養成講座受講者及び、地域でのポールウォーキング自主活動を実施している方

##### ウ 実施回数及び場所

定例会 6 回 健康文化センター1 階 多目的室

##### エ 従事者

保健師・看護師・管理栄養士

オ 内 容

事業計画（新規の方のための講座、町民体育祭、桜並木ジョギング大会、町外ポールウォーキング講座等）と、事業への参加協力（高齢者のためのポールウォーキング講座、中地域自治組織ポールウォーキング等）

カ 参加状況

参加延べ人数 63人（実人数18人）

(6) ポールウォーキング自主グループ支援

ア ポールウォーキングブラッシュアップ講座

(ア) 目的

ポールウォーキングリーダーの資質向上と自主活動支援と、新たな参加者への正しいポールウォーキングの普及を図る。

(イ) 対象 ポールウォーキングリーダー及び自主活動参加者等の一般住民

(ウ) 実施期間及び場所

平成28年1月14日（木）健康文化センター1階 多目的室

(エ) 従事者 講師（健康運動指導士）

(オ) 内容 ポールウォーキング講義と実技

(カ) 参加状況 10人

イ 町外ポールウォーキング

(ア) 目的

各地区での自主活動グループ間の交流を持ちながら、町外でポールウォーキングを実施する。

(イ) 対象

ポールウォーキングリーダー及び自主活動参加者等の一般住民

(ウ) 実施期間及び場所

平成28年3月4日（金）行先：豊田市足助町散策（中馬のおひなさん）

(エ) 従事者

看護師 管理栄養士

(カ) 参加状況

ポールウォーキング自主活動参加者 48人

借上げバスでの町外ウォーキングは、ポールウォーキングリーダー定例会において企画した。普段は町内の平坦な土地を歩いていることから、スキルアップを兼ねた行先と時期を選定し足助町に決定した。参加者の募集から当日の散策コースは各自主グループのポールウォーキングリーダーが中心となってグループをまとめ、街並み散策だけではポールウォーキングの良さが発揮できないと、香嵐溪方面へ足を延ばすグループもあり、坂道や階段を利用したポールウォーキングを楽しみながらグループの交流が行えた。

(7) ポールウォーキング自主活動

平成 24 年度から行ってきたポールウォーキングの普及啓発とポールウォーキングリーダーの協力により、町内の各地区で自主活動が行われている。

	実施日	集合場所	1回あたりの参加人数
ポールウォーキング自主活動	毎週水曜日 午前 9 時 30 分～	健康文化センター 1 階ホール	約 20 人
上小口ポールウォーキング	毎週火曜日 午前 9 時 30 分～	上小口学習等供用施設	約 10 人
余野ポールウォーキング	毎週木曜日 午前 8 時 30 分～	余野学習等共同利用施設	約 8 人
さつきヶ丘ポールウォーキング	毎週水曜日 午前 9 時～	さつきヶ丘防災センター	約 10 人
ハッピースマッピー健康教室	原則第 3 金曜日 午前 9 時 30 分～	大口町健康文化センター 1 階ホール	約 8 人

### 3 国保・介護・健康・福祉の連携

#### 取組みの背景・状況

年々伸び続ける国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険などの給付費は、今後の高齢者の増加に伴い、ますます増えていくものと思われる。町としては医療や介護の給付費の抑制“給付を抑える＝予防”を図ることが必要である。

そこで平成22年度から、戸籍保険課国保グループ、健康生きがい課介護グループ、健康グループが連携をして、国保・介護・健康の総合的な視点から現状の把握と分析に努めた。医療費分析の結果から、本町は脳血管疾患での受診率が高く、その医療費も高いことがわかり「血管を守ろう!」を合言葉に住民に対して、医療や介護の現状の理解、健康への関心を高めるため地区での説明会を開催した。

また、健康おおぐち21第二次計画の基本目標2に「生活習慣病の発症予防と重症化予防」を、基本目標3に「元気を支えるまちづくり」を掲げ、住民組織や既存団体との連携を強化しつつ取り組んでいる。

#### (1) 大口町保健事業計画（データヘルス計画）

今年度、「国民健康保険法」に基づく保健事業の実施等に関する指針の一部改正について（平成26年3月31日付厚生労働省保険局長通知）に基づき、健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿った保健事業の実施及び評価を行うために大口町保健事業計画（データヘルス計画）を策定した。この計画は、「健康おおぐち21第二次計画」や他の計画との整合性を図りながら策定する必要があるため、戸籍保険課と健康生きがい課が連携して定期的に検討会を設け進めた。

生活習慣病対策をはじめとして、被保険者の特性を踏まえた効果的かつ効率的な保健事業を実施するため、特定健康診査や特定保健指導の実施や、国保データベース（KDB）システムを活用し被保険者の健診や医療、介護の情報から課題を分析・評価し、ターゲットを絞った重症化予防の保健事業から健康の保持増進に努めるためのポピュレーションアプローチまで、網羅的に保健事業を進めていくことを計画に反映させた。

## 6 感染症予防事業

# 1 予防接種

予防接種は、感染症予防のために最も有効な手段の一つである。その目的を果たすためには、予防接種法等関係法令の規定に基づき乳幼児や学童、高齢者に対して安定的に予防接種の機会を提供し、安全で有効な予防接種を実施し、一定の接種率を確保することが重要である。広報・ホームページ等で接種可能な医療機関や接種対象者等を周知し、未接種者には乳幼児健診や個別通知で接種勧奨を行い接種率の向上に努めている。

## (1) 個別接種実施体制

就学前の乳幼児に対しては出生届出時に戸籍保険課において、予防接種予診票綴と説明書を交付している。学童の接種対象者については、個別通知にて予診票を送付し、予防接種を受けるよう周知している。転入者については保健センターで予診票の交付（差し替え）を行っている。

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種は、対象者ごとに個別で予診票を送付し、希望者は委託医療機関にて一部負担金をインフルエンザは 1,000 円、高齢者肺炎球菌は 2,000 円(町民税非課税世帯・生活保護世帯は無料)を支払い、接種を受けるよう周知している。

### ア 予防接種会場

予防接種の種類		接種方法	接種会場
A類疾病	四種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)	個別接種	大口町・扶桑町 江南市・犬山市 の委託医療機関 及び <b>【A類予防接種】</b> ※H26.4.1から追加 愛知県内の委託 医療機関でも可能 (連絡票必要) <b>【B類予防接種】</b> 尾張北部圏域 小牧市・岩倉市・ 春日井市の委託 医療機関でも可能
	三種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風)		
	二種混合 (ジフテリア・破傷風)		
	MR (麻しん・風しん混合) ・麻しん・風しん		
	日本脳炎		
	ポリオ(急性灰白髄炎)：不活化ワクチン		
	ヒブ		
	小児用肺炎球菌		
	水痘		
B類疾病	子宮頸がん		
	高齢者インフルエンザ		
A類疾病	高齢者肺炎球菌		
	BCG	集団接種	保健センター

平成 26 年 4 月 1 日から、A類定期予防接種が尾北医師会管内以外の愛知県広域内の委託医療機関での接種が可能となった。ただし、希望者は事前に申請し、連絡票を受け取り予約後に接種する。B類定期の予防接種は、尾張北部圏域内の委託医療機関で接種が可能。

イ 個別予防接種の種類と期間

四種混合、三種混合、二種混合、MR(1期・2期)、日本脳炎、ポリオ、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌予防接種は4月から3月まで一年を通して実施し、高齢者インフルエンザ予防接種は11月1日～12月31日の期間で実施した。

(2) 実施状況

(単位：人・%)

A 類疾病		年度接種率			平成 27 年度	26 年度	25 年度	24 年度
		対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率	
四種混合	第1期初回1回目	228	235	103.1	104.2	95.4	61.1	
	第1期初回2回目	228	228	100.0	104.6	98.5	36.8	
	第1期初回3回目	228	237	103.9	99.6	90.9	21.1	
	第1期追加	239	227	95.0	83.2	6.4	0.0	
三種混合	第1期初回1回目		0		0	39.6	82.1	
	第1期初回2回目		0		0	41.9	89.0	
	第1期初回3回目		0		0	43.2	96.1	
	第1期追加		0		83.8	68.3	98.0	
二種混合	第2期	239	222	92.9	90.9	85.2	84.0	
麻しん・ 風しん 混合 (MR)	第1期	239	237	99.2	94.7	100	99.5	
	第2期	210	210	100.0	95.3	96.7	91.1	
	第3期						89.6	
	第4期						91.3	
日本脳炎 ※ <sup>1</sup>	第1期初回1回目	219	264	120.5	116	51.5	36.5	
	第1期初回2回目	219	269	122.8	116	52.3	36.3	
	第1期追加	231	286	123.8	122.7	56.8	75.4	
	第2期	231	144	62.3	49.0	36.9	—	
ポリオ (不活化 ワクチン)	第1期初回1回目		1			80.4	53.3	
	第1期初回2回目		3			71.4	72.1	
	第1期初回3回目		0			74.2	72.7	
	第1期追加		8		80.8	64.9	0.0	
水痘※ <sup>2</sup>	1回目	239	239	100.0	32.0			
	2回目	226	253	111.9	58.1			
BCG		237	235	99.2	99.6	97.9	96.3	

(単位：人・%)

年度接種者数		平成 27 年度			26 年度	25 年度	24 年度
		対象者	被接種者	接種率	延べ 接種回数 (被接種者数)	延べ 接種回数 (被接種者数)	延べ 接種回数 (被接種者数)
A 類疾病 ヒブ	1 回目	228	228	100.0	267	280	804 (436)
	2 回目	228	234	102.6	243	218	
	3 回目	228	228	100.0	240	238	
	4 回目	239	236	98.7	224	248	
小児用 肺炎球菌	1 回目	228	229	100.4	273	301	832 (427)
	2 回目	228	236	103.5	248	243	
	3 回目	228	229	100.4	238	233	
	4 回目	239	236	98.7	214	201	
子宮頸がん 予防(ヒトパピロー ウイルス感染症)※ <sup>3</sup>	1 回目	119	1		0	37	217 (126)
	2 回目	119	1		0	25	
	3 回目	119	0		1	23	

(単位：人・%)

B 類疾病	平成 27 年度被接種者 (対象者 1,041 : 接種率 50.0)									
	60 歳以上 65 歳未満	65 歳	70 歳	75 歳	80 歳	85 歳	90 歳	95 歳	100 歳	計
高齢者 肺炎球菌 ※ <sup>4</sup>	1	144	131	158	48	23	11	4	0	520

(単位：人・%)

B 類疾病	平成 27 年度			26 年度	25 年度	24 年度
	対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
高齢者インフルエンザ	5,168	3,168	61.3	62.9	61.6	60.1

※<sup>1</sup> 日本脳炎：平成 7 年 6 月 1 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれの人(特例対象者)は、4 歳以上 20 歳未満まで接種できる機会が延長されている

平成 27 年度予防接種の特例に係る積極的勧奨者 当該年度 18 歳となる者

(平成 9 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれた未接種者)

※<sup>2</sup> 水痘：平成 26 年度経過措置は終了となり、対象者は 1 歳以上 3 歳未満のみとなった。

※<sup>3</sup> 子宮頸がん：平成 25 年 6 月から子宮頸がん予防接種の積極的勧奨を差し控えている。

※<sup>4</sup> 高齢者肺炎球菌：対象者は、60 歳以上 65 歳未満で基準の障害を有する方または、当該年度 65・70・75・80・85・90・95・100 歳の方で、過去に 23 価肺炎球菌ワクチンを接種していない方。

### (3) 高齢者肺炎球菌(任意)予防接種費用の助成

平成 23 年 6 月 1 日から下記の対象者に対して、高齢者が肺炎球菌予防接種を受けやす

い体制を整備し、肺炎球菌に起因する肺炎の発症及び重症化を予防することを目的に、高齢者肺炎球菌予防接種費用を助成している。

ア 対象者

75歳以上の高齢者及び66歳以上75歳未満で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫機能に障害(身体障害者手帳1級相当)を有する者。過去に高齢者肺炎球菌を接種した者は除く。高齢者肺炎球菌の定期接種開始に伴い、定期対象者は対象外とする。

イ 助成金額

町民税課税世帯(一部助成) 4,139円

町民税非課税世帯及び生活保護世帯の方は(全額助成) 8,139円

ウ 助成状況

(単位：人)

年度 助成者区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
一部助成者数	6	29	78
全額助成者数	1	8	19

(4) 風しん抗体検査及び風しんワクチン接種費用の助成

平成25年7月1日から、風しんの抗体価が低い妊娠初期の妊婦が風しんに感染した場合の胎児への先天性風しん症候群の発生を予防することを目的として、風しんワクチン接種費用の助成事業を実施している。平成26年4月1日からは、風しん抗体検査費用の一部助成も開始した。

ア 対象者

妊娠を予定又は希望する女性及び、その配偶者又は事実上婚姻関係にある者  
妊娠している女性の配偶者又は事実上婚姻関係にある者

※ただし、風しんワクチン接種費用助成の場合、風しん抗体価が基準値より低く上記の条件に該当する者

イ 助成内容

風しんワクチン接種費用の1/2(上限5,000円)

風しん抗体検査費用の1/2(上限5,000円)

※ただし、町民税非課税世帯及び生活保護世帯の者は全額助成。

ウ 助成状況

(単位：人)

年度 内容	平成27年度	平成26年度	平成25年度
風しん抗体検査	17	12	
風しんワクチン接種	7	4	23
MRワクチン接種	8	16	105

## 7 その他

## 1 学生実習指導

公衆衛生の視点を持った保健師、管理栄養士、看護師を育成するため、地域で行われている公衆衛生看護・栄養活動を学ぶ場として実施している。多岐にわたる役割の中で、生活の基盤となる公衆衛生の実践を学び、臨床と地域の連携を進めていく上でも大切な場となっている。また学生指導を通して、日々行っている保健活動を改めて見直す機会となっている。

学 校 名	養成課程	実習生数（人）	実習期間
名古屋医専 保健学科	保健師	3	平成 27 年 12 月 8 日～11 日
名古屋女子大学 家政学部 食物栄養学科	管理栄養士	5	平成 27 年 7 月 3 日 (3 歳児健診)
名古屋女子大学 家政学部 食物栄養学科	管理栄養士	5	平成 27 年 7 月 15 日 (らくらく離乳食教室)
椋山女学園大学 生活科学部 管理栄養学科	管理栄養士	5	平成 27 年 8 月 19 日 (もぐもぐ教室)

※学生は母子保健・成人保健・介護予防・住民と協働で進める健康づくりの取り組みを見学し、また対象者の特徴にあわせた健康教育、地区把握等を学ぶ。

※管理栄養士養成施設の学生は、1 週間の保健所実習の間に市町村保健センターの見学実習が位置付けられている。実習の事前課題として、見学する事業の対象児をターゲットとした献立作成を課し、見学実習後に事前課題の考察を行った。また、成人保健として、住民と協働で進める生きがいつくりの場を視察した。

## 2 在宅医療介護連携事業

厚生労働省は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活支援を目的として、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。(図1)

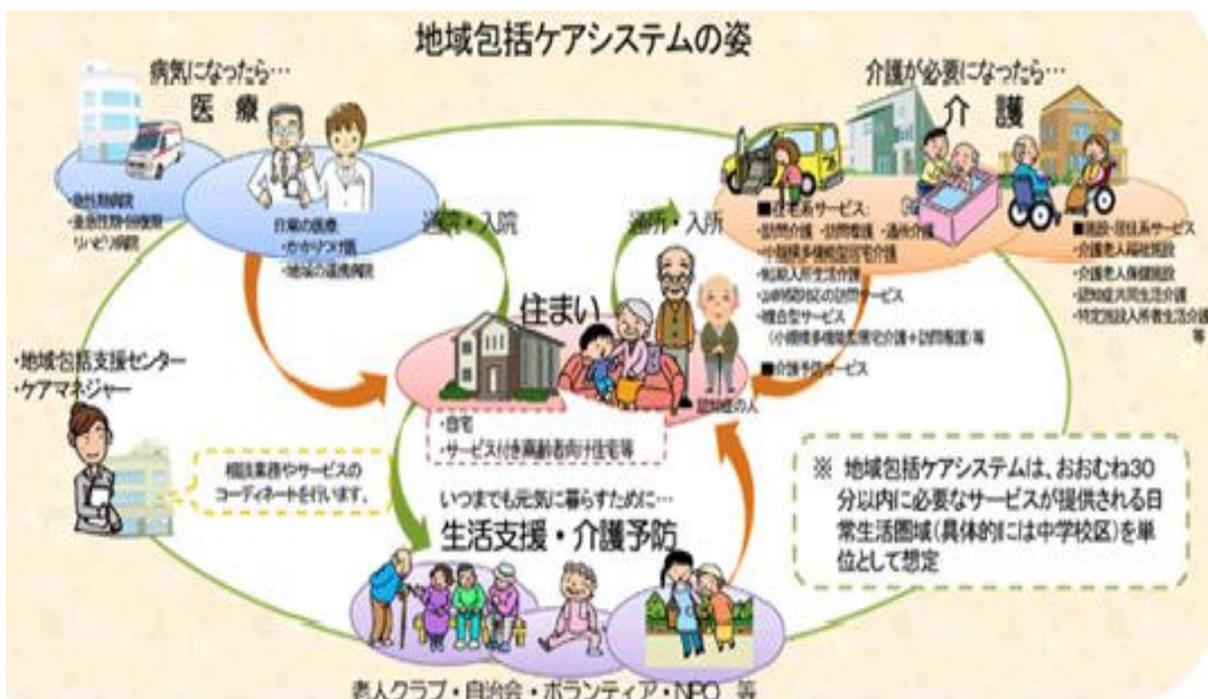


図1) 2025年の地域包括ケアシステムの姿

これは住まい・医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供され、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で住み続けることができる地域のあり方を示しています。

「地域包括ケアシステムの構築」のためには、多くの医療職種によって提供される在宅医療と、介護関係職種を加えた多職種による真に包括的なケアのための協働・連携の体制を整えることが必要です。

平成 27 年度 大口町在宅医療・介護連携事業

日 時	内 容	対象者	会 場	備 考 (実施結果等)
8月19日 (水) 午後1時30分～3時30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要の説明</li> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> <li>・今後の予定</li> </ul>	大口町内医療機関 居宅介護支援事業所	健康文化センター 1階 多目的室	出席者：19名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポート医の研修報告</li> <li>・医療機関とケアマネジャーとの連携連絡票作成について</li> </ul>
11月11日 (水) 午後1時30分～3時30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要の説明</li> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> <li>・今後の予定</li> </ul>	大口町内薬剤師 居宅介護支援事業所	健康文化センター 1階 多目的室	出席者：19名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅対応保険調剤薬局等についての説明</li> <li>・医療機関とケアマネジャーとの連携連絡票(案)について</li> </ul>
11月12日 (木) 午後1時30分～3時30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要の説明</li> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> <li>・今後の予定</li> </ul>	大口町内歯科医療機関 居宅介護支援事業所	健康文化センター 1階 多目的室	出席者：17名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅訪問歯科診療についての説明</li> <li>・医療機関とケアマネジャーとの連携連絡票(案)について</li> <li>・事例を通しての質疑応答</li> </ul>
12月14日 (月) 午後2時～3時30分	通所系介護サービス事業所連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要の説明</li> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> </ul>	通所系介護サービス事業所	健康文化センター 1階 多目的室	出席者：16名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> </ul>
12月15日 (火) 午後2時～3時30分	訪問系介護サービス事業所連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要の説明</li> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> </ul>	訪問系介護サービス事業所 *訪問看護ステーションについては、町外事業所にも出席依頼をする	健康文化センター 1階 多目的室	出席者：17名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町の介護保険及び事業所の現状</li> <li>・情報交換</li> </ul>
平成28年 2月2日 (火) 午後1時30分～3時30分	多職種連携の研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの地域包括ケアシステムについて</li> </ul> 講演・グループワーク 講師：湘南医療大学 保健医療学部 看護学科教授 牛田貴子 氏	大口町内医療機関 〃 歯科医療機関 〃 薬剤師 居宅介護支援事業所 介護サービス事業所	健康文化センター 4階 ほほえみホール	出席者：62名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携連絡票の活用について</li> <li>・ざっくばらんなグループづくり</li> <li>・今後の在宅医療・介護連携について</li> </ul>

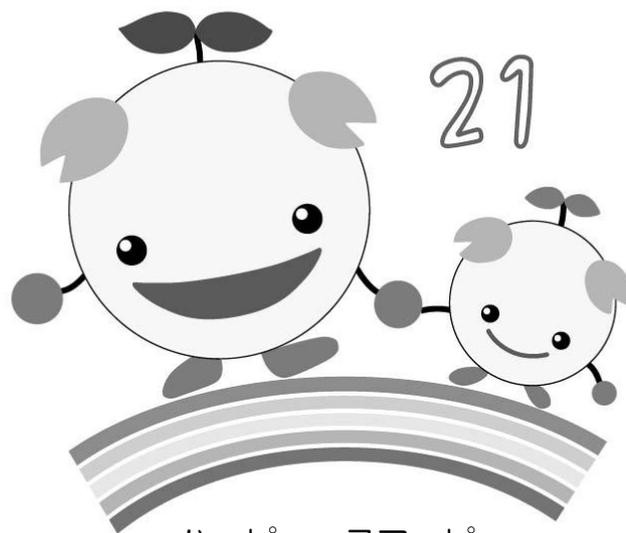
# 保健活動のまとめ

平成28年6月発行

編 集 大 口 町 健 康 福 祉 部 健 康 生 き が い 課  
(大 口 町 保 健 セ ン タ ー)  
丹 羽 郡 大 口 町 伝 右 一 丁 目 35 番 地  
電 話 0587 (94) 0051  
F A X 0587 (94) 0052

発 行 大 口 町

健康おおぐち21 シンボルマーク



ハッピー・スマッピー